

日本二普協ニュース



一般社団法人
日本二輪車普及安全協会

No.112

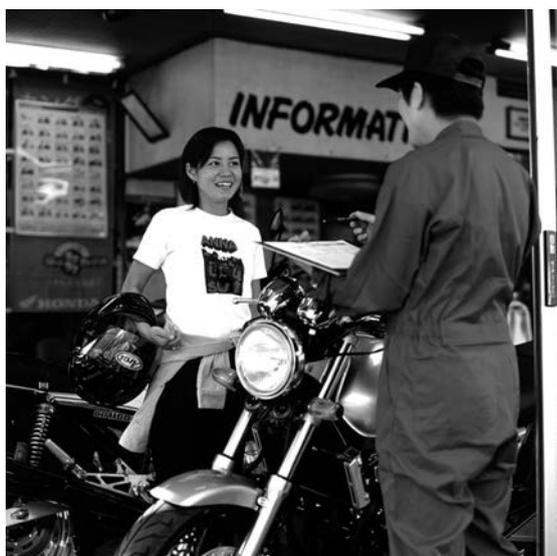
平成26年1月31日号

発行所 一般社団法人
日本二輪車普及安全協会
編集・発行人 佐藤 忍

〒170-0005
東京都豊島区南大塚 2-25-15 South 新大塚ビル 7F
TEL: 03-6902-8190 FAX: 03-6902-8195

ホームページ: <http://www.jmpsa.or.jp>

二輪と社会の調和を求めて



◆目次◆

■年頭の辞: 福井威夫・日本二普協会長……………2	2 バイクの日 スマイル・オン2013開催……………15
倉田 潤・警察庁交通局長……………3	3 平成25年度自動車関係功労者大臣表彰……………17
■活動報告<安全本部>	4 品質評価者講習会を全国で72回開催……………20
1 グッドライダーミーティングの開催……………4	5 2014年 MFJ主要カレンダー……………21
2 グッドライダー防犯登録制度の登録有効期間を延長……………11	■都府県地区支所会長・事務局長会議を開催……………22
3 G防・盗難照会システムの推進状況……………12	■平成25年度優良団体・優良販売店受賞者名簿……………24
■活動報告<流通環境本部>	■県地区軽協専務理事に県地区支所事務局長を委嘱……………29
1 第1回BIKE LOVE FORUM (BLF) 開催……………15	■統計: 盗難認知・被害回復/交通事故……………31

年頭の辞

二輪車ユーザーの皆様などの期待と信頼に応える活動の推進

会長 福井 威夫



明けましておめでとうございます。皆様佳き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から当協会の諸活動に多大のご理解とご支援、ご協力を賜り心より厚く御礼を申し上げます。

当協会（旧全国二輪車安全普及協会）は、昨年10月1日にNMCA日本二輪車協会、都府県地区二輪車安全普及協会及び8地区二輪車協会と組織統合し、協会名を一般社団法人日本二輪車普及安全協会に改め新たな歩みを始めました。今後は、これまでの二輪車の安全運転普及活動及び防犯活動に加え、これら統合団体が実施していた二輪車の利用環境の改善、流通環境の整備、モーターサイクルスポーツの普及活動などを継続実施し、二輪車ユーザーが広がり、より安全で快適なバイクライフが過ごせる社会の実現を目指してまいります。

さて、当協会の主たる事業の取り組みに関し、5点ばかり簡単に申し述べたいと思います。

1点目は安全運転の普及についてです。

昨年11月末における二輪車の交通事故による死者数は694人、前年比マイナス34人、4.7%減少と、減少傾向が続いております。当協会といたしましては、グッドライダーミーティングをはじめ高齢者、女性及び高校生等に対する安全運転普及活動を引続き積極的に推進してまいります。

2点目は、防犯活動についてです。二輪車の防犯活動であるグッドライダー防犯登録につきましては、昨年の国内4メーカーの新車販売台数に対する登録率は、45.3%で前年比0.8ポイントの減少でありました。全二輪車保有台数に対する登録率は、22.3%と前年比0.4ポイント増加いたしました。依然として低い登録率であります。

ところで、最近の自工会の二輪車市場動向調査によりますと、ユーザーの二輪車所有期間が以前より長くなっておりますことから、それに対応したサービスの向上を図るため、本年1月から登録有効期間を従前の7年から10年に延長いたしました。今後ともユーザーの皆様へのニーズに的確に応え、信頼される登録制度の運用を目指して改善を図ってまいります。

3点目は、二輪車の利用環境の改善に向けて、関係団体と連携し二輪車の駐車場整備やユーザーに対する駐車場利用啓発などを図るとともに、二輪車のプレゼンス向上に向けて各種情報発信を行ってまいります。

4点目は、関係団体と連携して自動車公正取引協議会への入会促進や二輪車品質評価者講習会の開催などを行い「二輪車公正競争規約」の一層の普及を図り、二輪車の流通環境の整備を推進してまいります。

5点目は、二輪車の楽しさやモータースポーツを広く訴求するため、バイク月間中のイベントをはじめとする各種イベントを積極的に開催または後援してまいります。

更に、日本モーターサイクルスポーツ協会、地区モーターサイクルスポーツ協会と連携し、モーターサイクルスポーツの普及促進を図ってまいります。

以上、当協会の取り組み方針をご紹介いたしました。私共のこれら活動が、関係機関団体、二輪車ユーザーの皆様のご期待と信頼にお応えできるよう組織一丸となって推進していく所存ですので、皆様の一層のご理解とご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

おわりに皆様の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈りいたしまして新年のご挨拶といたします。

年頭の辞

官民一体となった
継続的な取組が不可欠

警察庁交通局長 倉田 潤



新年あけましておめでとうございます。

貴協会におかれましては、平素から交通警察行政の各般にわたり、深い御理解と御支援をいただき、また、昨年10月1日から、日本二輪車普及安全協会として新組織による活動をスタートされ、二輪車の交通安全活動の推進に特段の御尽力をいただいておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成25年中の交通事故情勢につきましては、死者数が5年連続して5,000人以下となり、13年連続の減少となったほか、発生件数及び負傷者数も過去最悪であった平成16年から引き続き減少しております。

これも、貴協会を始めとする関係各位の御尽力の賜であり、心から感謝を申し上げます。

しかしながら、個々の交通事故件数に目を向けてみますと、交通事故死者数の半数以上を65歳以上の高齢者が占めているほか、いまだ飲酒運転等の悪質違反に起因する交通事故や通学中の児童が巻き込まれる交通事故が発生するなど、決して予断を許さない情勢にあります。

また、昨年、道路交通法の一部が改正され、12月に無免許運転に関する罰則の強化や自転車の左側路側帯通行等の自転車利用者対策について施行されました。続けて、本年6月には、一定の病状を呈する病気等に係る運転免許取得・更新時の「質問票」の提出義務等も施行されます。

こうした情勢を踏まえ、警察といたしましては、引き続き交通事故死者数の半数以上を占める高齢者への対策を始め、一層の交通死亡事故抑止対策を強力に推進するとともに、法改正の周知に努め更なる交通事故犠牲者の減少を目指してまいります。

もとより、交通死亡事故抑止は、ひとり警察のみで達成できるものではなく、関係機関・団体との緊密な連携による官民一体となった継続的な取組が不可欠であることは申すまでもありません。

貴協会におかれましては、「グッドライダーミーティング」、「二輪車安全運転講習」、「原付安全運転講習」など、二輪車の安全運転普及活動に積極的に取り組んでいただいておりますこと、今後とも活動を推進していただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



活動報告 <安全本部>

1 グッドライダーミーティングの開催

二普協活動の一つの柱である安全運転普及活動の中でも重点施策となっているグッドライダーミーティング（以下「Gミーティング」という。）は、本年度は全国で107回計画し、積極的に実施を図ってまいりました。昨年12月末までの開催状況は、44都道府県で96回、受講者数3,538名となっています。特に本年度は、春先の冷温や大雨等が影響し8回（前年3回）の中止を余儀なくされたことは残念なことでありましたが、一方、新たな試みとして、従前、千葉県において開催しておりましたレディスミーティングを東京都、大阪府で実施し、効果を上げることができました。また、警察（白バイ）関係者、県安全協会（二推）の連携・協力を例年にも増して進めていただきました。

そして、定例となりました受講者からの全国統一アンケートの回答を2,868名からいただき、Gミーティング全般にわたってその評価を分析しました。その結果

を基に平成26年度に向け、改善・工夫をいたします。

平成18年以降の実施累計は全国で延べ641回開催、受講者数は24,930名に及んでおり、高い支持をいただくとともにGミーティングの狙いである、初心者への動員を着実に伸ばしております。

<Gミーティングの狙い>

Gミーティングは、グッドライダー宣言者のための誰でも気軽に参加できる体験型の実技訓練です。上達する楽しさを通じ個人の規範意識に訴えかけ、安全行動を自ら導きだせる安全運転講習を目指しています。この体験型講習会では運転技術の向上とともに、自己の技量を自覚・把握させ、混合交通の中においても危険要素への感受性を高めることで、交通ルールとマナーを重んじるグッドライダーを育成し、二輪車事故の防止に寄与するものであります。

平成25年度Gミーティング県別開催計画・実績

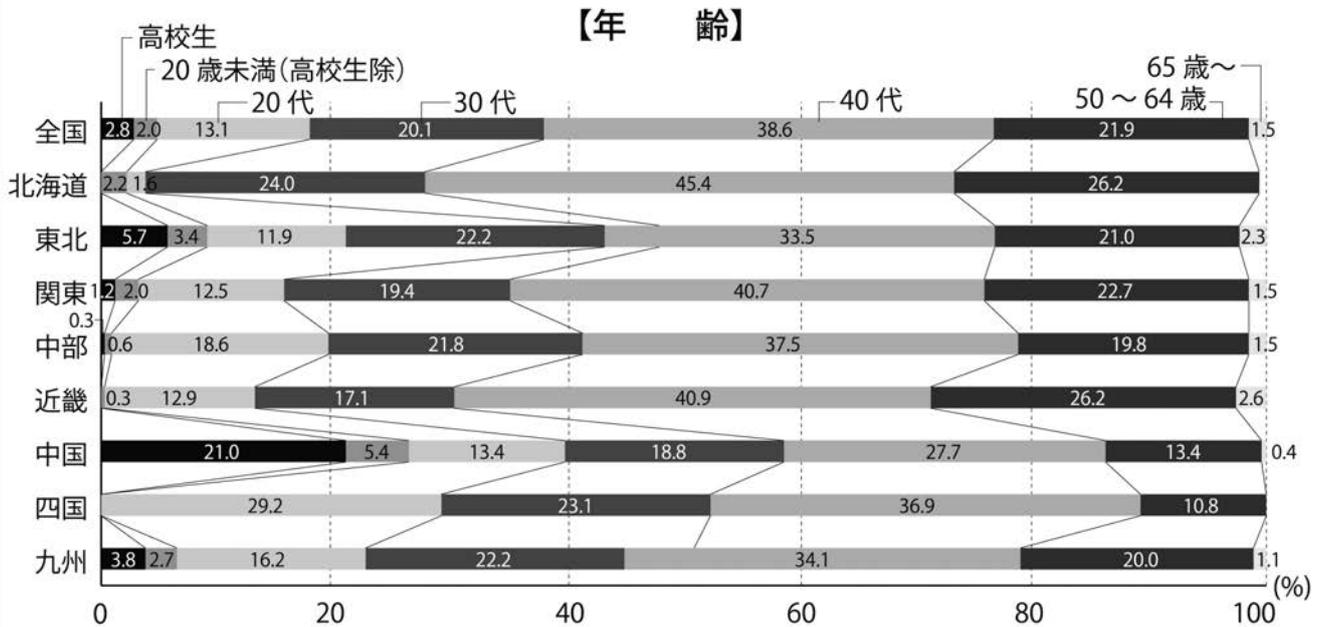
2013/12/末現在

二普協	開催計画	動員目標	開催中止	開催実績	動員実績	内女性	指導員数	警察数	内白バイ	二普協協数	安協数	二普協	開催計画	動員目標	開催中止	開催実績	動員実績	内女性	指導員数	警察数	内白バイ	二普協協数	安協数	
北海道	6	300	5	1	274	52	50			6	10	滋賀	1	40	1		35	14	5	2		3	1	
青森	1	35	1		36	5	15	3	3	2	1	京都	2	80	1	1	30	4	5	2	1	3	3	
岩手	3	90	3		99	23	36			3	3	大阪	11	890	10		504	113	86	28	15	30	15	
宮城	4	160	3	1	67	14	33	10	8	4	4	兵庫	2	100	2		80	11	15	10	7	6	5	
秋田	1	25	1		11	2	1	6	6	2	2	奈良	2	100	2		73	14	10	6	4	6	6	
山形	1	30	1		32	6	10	3	3	4	2	和歌山	2	100	1		19	4	4	1		2	3	
福島	1	30	1		12	2	10	3	2	4	1	鳥取	1	30		1								
東京	5	230	5		207	40	68	20	10	7		島根	1	50	1		46	6	6			1	3	
茨城	2	90	2		96	14	27	12	4	4	2	岡山	1	30	1		38	7	10			1	5	
栃木	2	100	2		84	12	28	8	6	3	5	広島	3	120	3		108	19	30	10	6	6	13	
群馬	2	120	2		89	15	26	17	14	4	20	山口	1	30	1		41	11	9	7	4	5	3	
埼玉	4	240	4		231	34	59	50	15	8	6	徳島	1	30	1		22	2	8	5	3	2		
千葉	6	330	5		313	79	104	29	11	11	15	香川	1	30	1		29	4	8	4	4	3		
神奈川	5	180	4	1	130	24	56	10	8	5	4	愛媛	1	50	1		28	3	9	8	5	4	1	
新潟	2	120	2		109	14	19	4	4	4		高知	1	30	1		10	2	5	5	4	3		
山梨	4	150	4		82	16	32	6	6	9		福岡	1	30	1		18	7	5	4	2	2		
長野	2	75	2		57	7	20	9	4	3	2	佐賀	1	20	1		15	5	5	2	2	3		
静岡	2	100	2		80	8	18	11	8	6		長崎	1	20	1		25	3	15	3	3	2		
富山	2	100	2		82	10	17			2	1	熊本	2	40	1	1	9	3	4	1	1	1	1	
石川	1	30	1		18	4	6			1	2	大分	7	150	7		119	15	45	4	4	13	1	
福井	1	30	1		33	6	12			2	2	宮崎	1	20	1		13	6	6	3	2	3		
岐阜	1	50	1		38	8	8			3		鹿児島	1	20		1								
愛知	2	65	2		57	4	15			5		沖縄	1	30		1								
三重	1	40	1		39	3	7	6	5	5	1	合計	107	4,760	96	8	3,538	655	967	312	191	206	141	
レディス開催：千葉、東京、大阪												計画進捗率		90%		74%		前年進捗率		93%		93%		

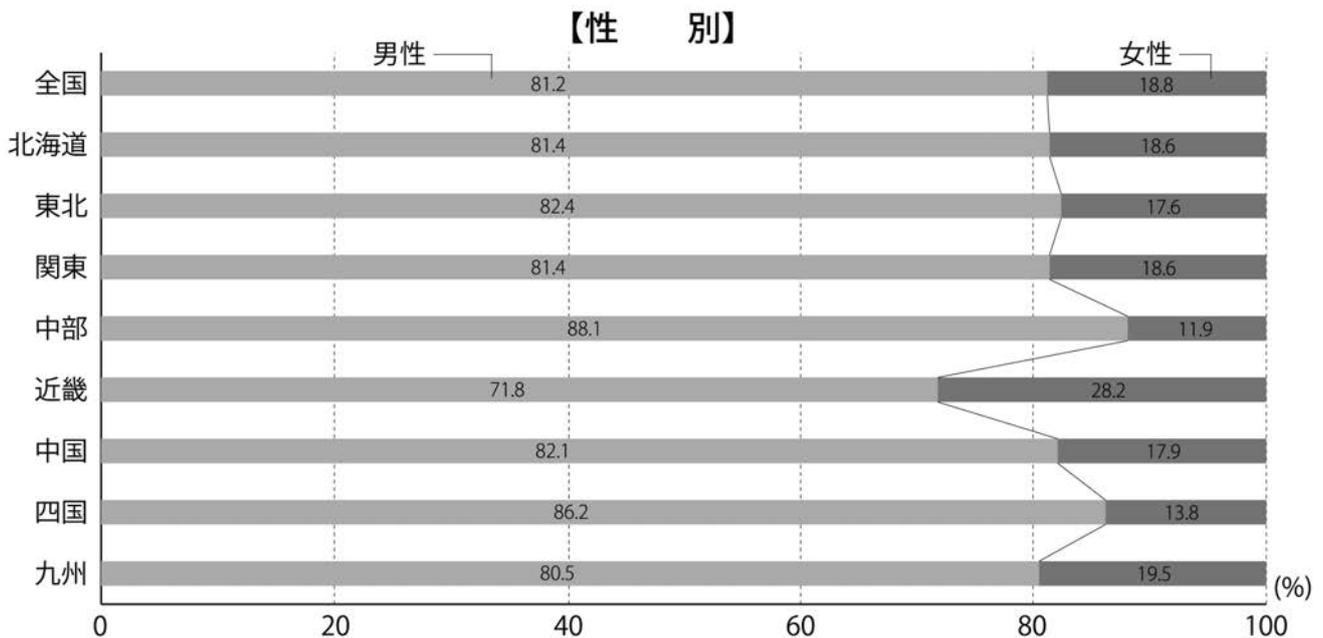
Gミーティング実績推移表(二普協本格導入以降)

平成18年	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年		平成25年		累計		
回数	回数	動員															
37	1,330	56	2,215	73	3,071	86	3,696	96	3,959	94	3,313	103	3,808	96	3,538	641	24,930
15県		26県		29県		37県		39県		41県		46県		44県		47県	

Gミーティングアンケート調査・分析 (93 会場、回収率 97%、調査数：2,868)

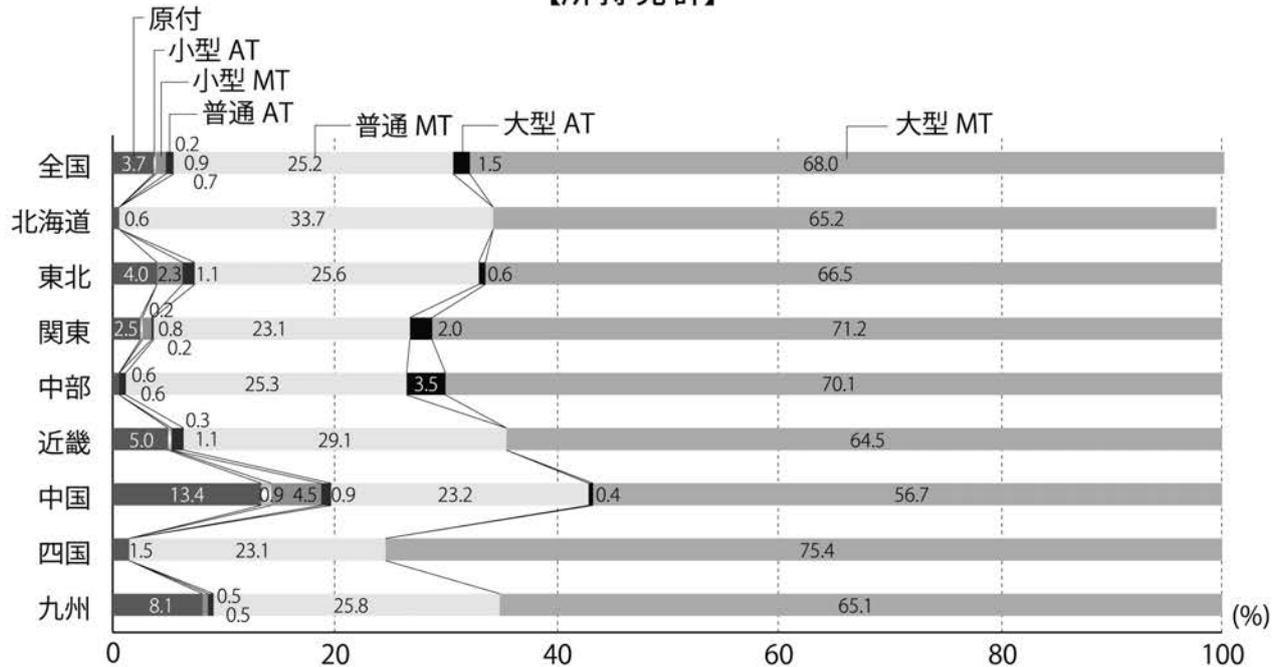


- ◆全国平均では、例年通り二輪需要の成熟期に育った年齢層（40代前後）が多い。
- ◆近年、40代の事故は増加傾向にあり、指導対象年齢層といえるが、事故の多い若者層（20代以下）、特に高齢者層（65歳以上）の参加は少なく誘因が難しい。
- ◆高校生層の多い中国（島根）は毎年、高校生対象の講習会を実施（島根高専）。



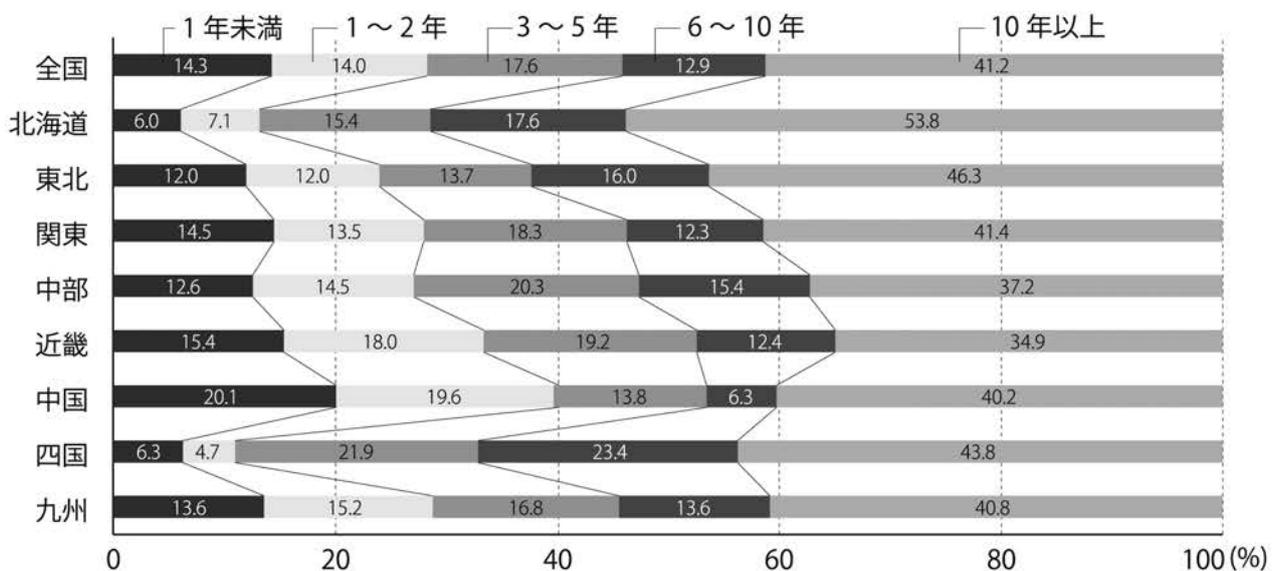
- ◆全国平均では、男性 81.2%、女性 18.8%、女性が増加傾向（前年比 2.3%アップ）。
- ◆女性が参加しやすいレディス開催（千葉）に新たに東京、大阪が実施し、効果を引き出した。
- ◆近畿は、女性が約3割を占め、前年比 12%アップ。
- ◆女性指導員の育成、女性白バイ隊員への協力要請等の対応に今後も注力が必要。

【所持免許】

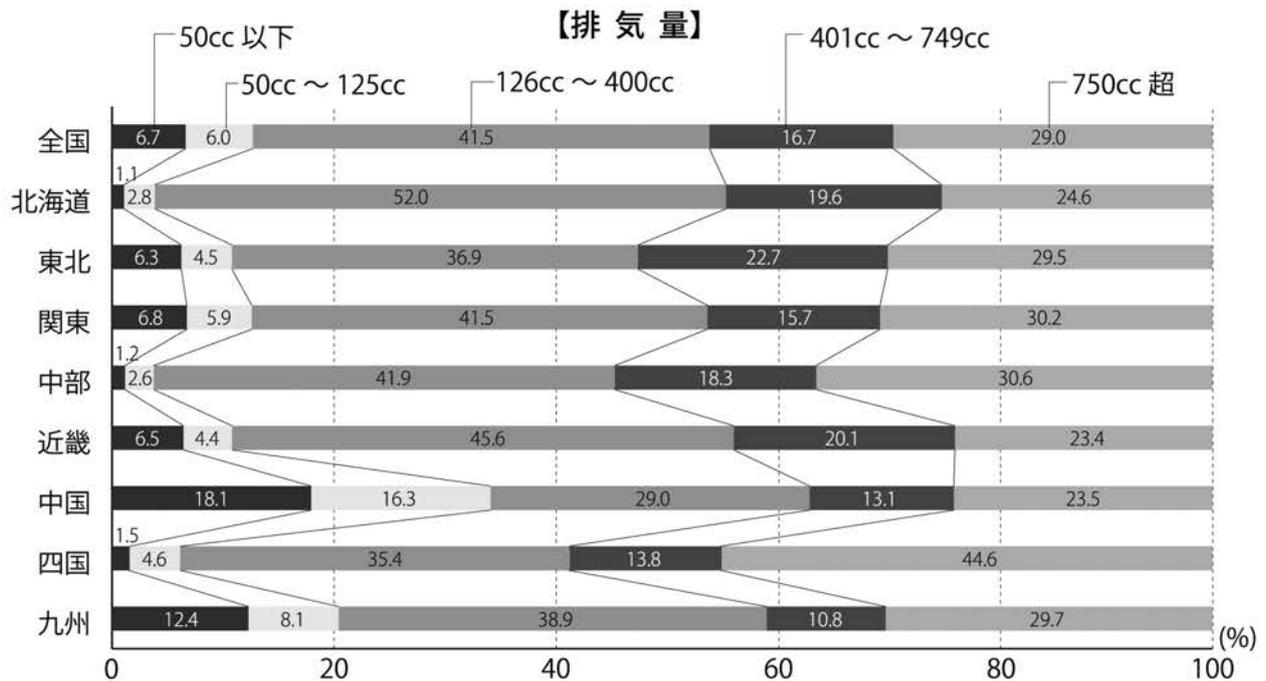


- ◆全国平均では、大型免許所持者が7割を占め、傾向に変化は見られない。
- ◆受講者の9割5分が普通免許、大型免許所持者。
- ◆中国は島根高専において講習を実施しており、原付が他に比べて高い。

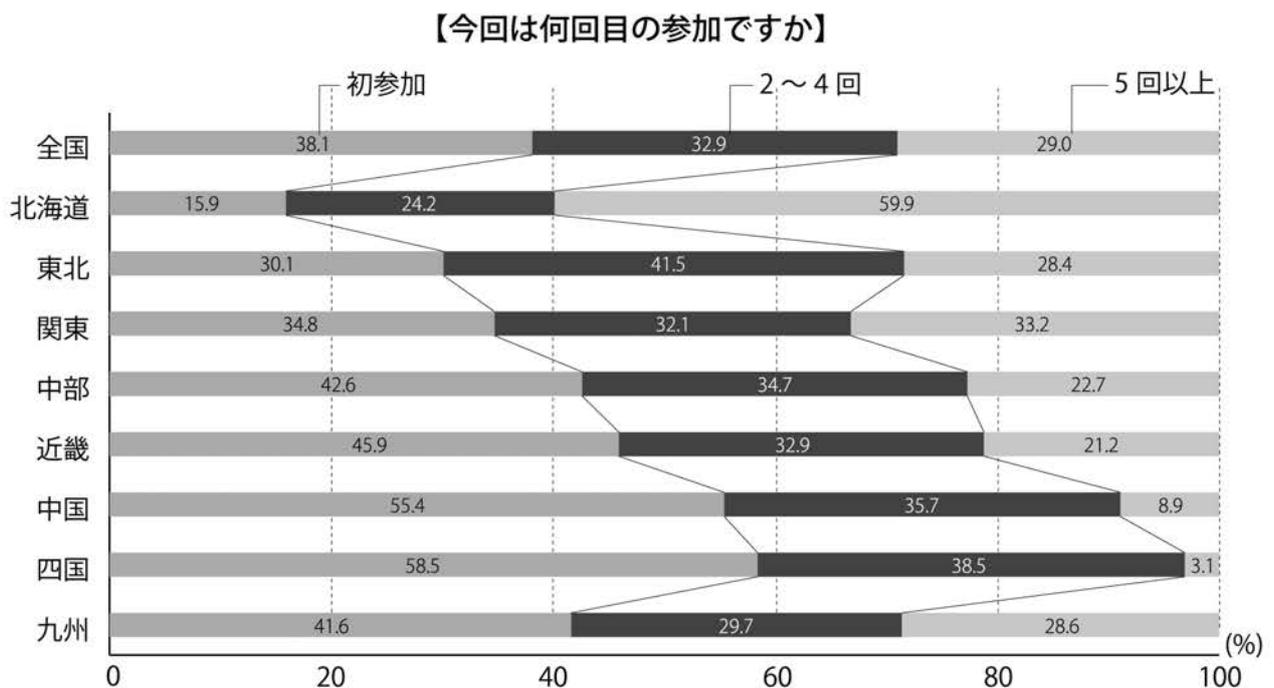
【運転経験】



- ◆全国平均では、依然6年以上が半数を占めるが、1年未満、1~2年が増加傾向を示す。
- ◆事故率が高い初心運転者（運転経験3年未満の者をいう。）が3割近くにあり、Gミーティングの主旨に一步步近づいていると推断される。
- ◆中国、近畿、九州、関東、中部の順に初心者の誘因にその効果が見られる。

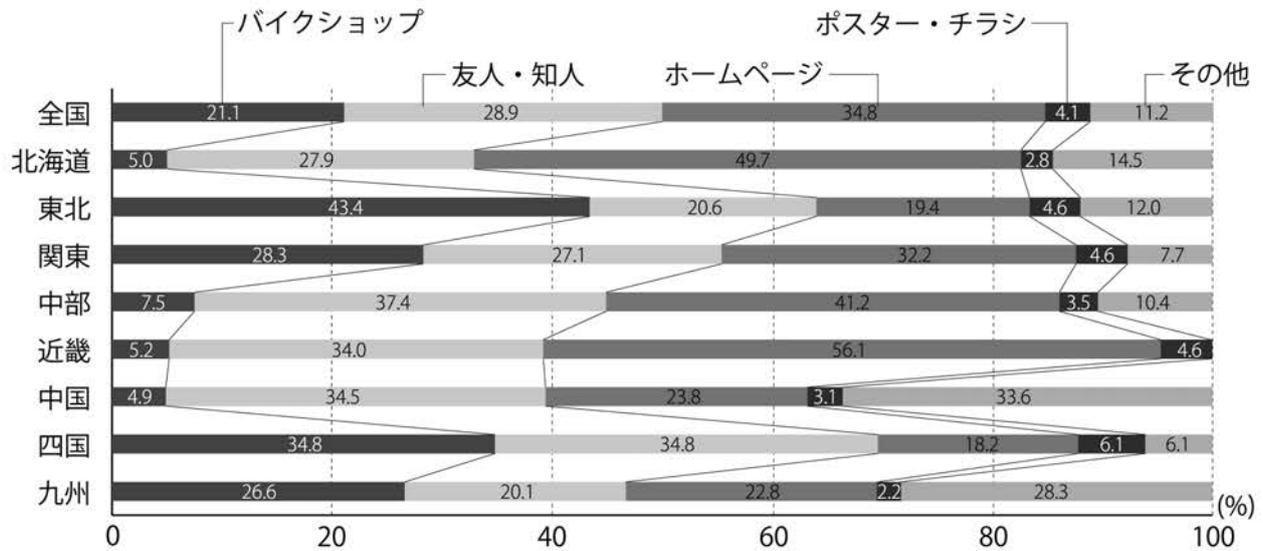


- ◆全般に所持免許の大型保有率の高さに対し、参加車両は普通二輪が最多であり、傾向に変化はない（技術的スキルアップの場として受講者の活用度、重要度が窺われる）。
- ◆中国（島根）は高専、九州（大分）原付ビギナー、近畿（大阪）は職域、東北（山形）高校生対象があり、原付ウエイトが高い。



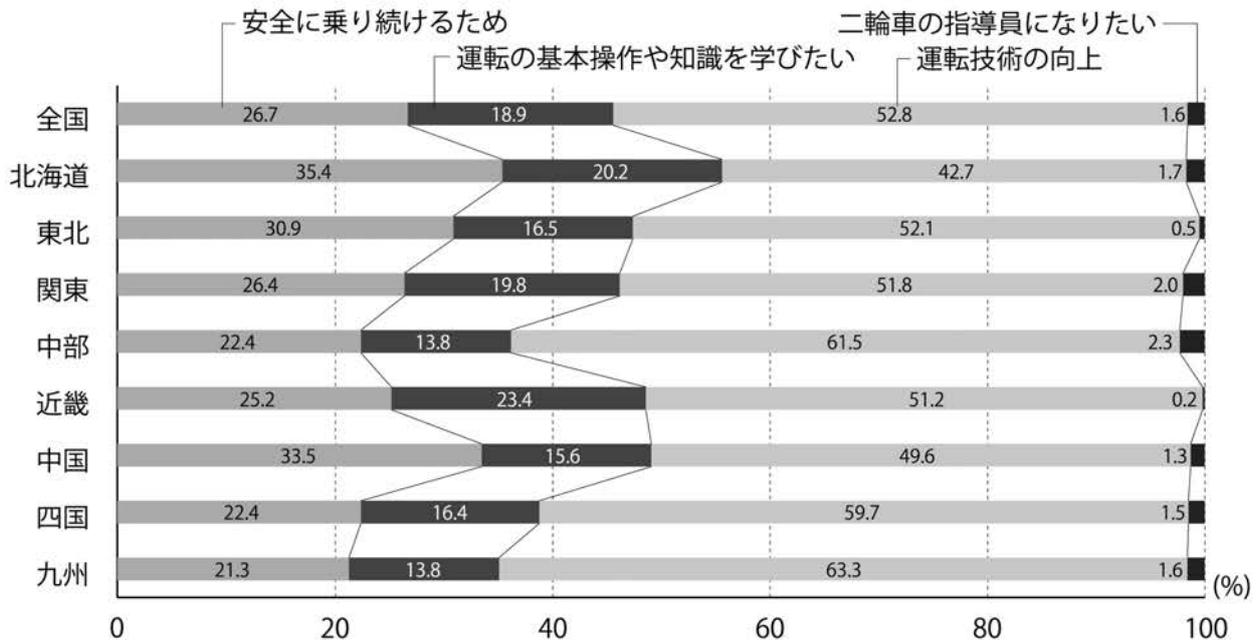
- ◆全国平均では、初回参加が4割弱と最多であり、目指す方向にほぼ合致している。
- ◆次いで2～4回が多く、4回以下で7割を超えていることから対象層への誘引を維持。
- ◆西日本エリアでは初回参加の誘引率高い。
- ◆北海道（札幌）は、例年の傾向としてリピーターが過半数を占めている。

【G ミーティングは何により知りましたか】



- ◆全国平均では、相変わらず HP 誘引が最多であり、次いで友人・知人、ショップは3番目と低い。
⇒今一度、G 防犯登録加入者特典のアピールで販売店経由を積極的に働きかけましょう。
- ◆東北は、販売店窓口を主体的に推進しユーザーとの結び付を強化(青森は85%)。
- ◆四国、関東、九州も販売店からの誘引を強化するも、2 極化傾向に変化はない。

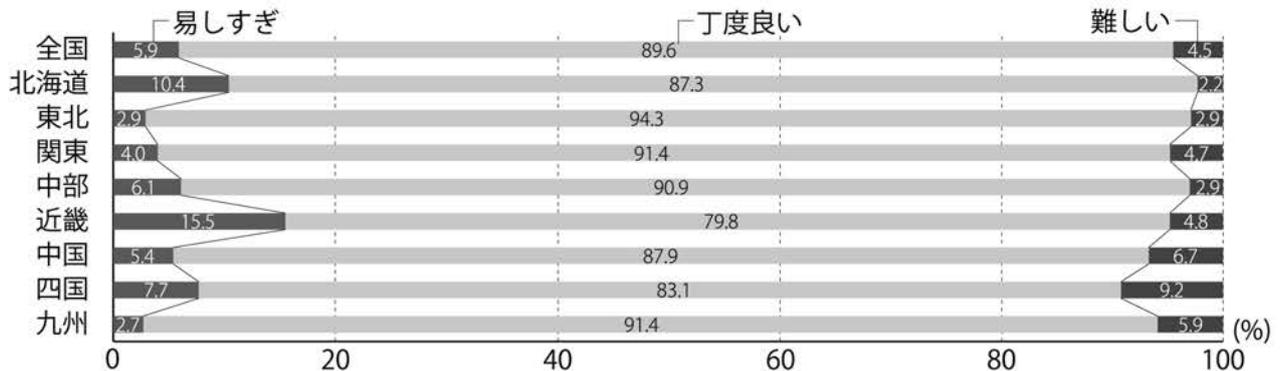
【G ミーティングに参加する理由は何ですか】



- ◆全国どのブロックでも受講動機として、「運転技術の向上」が過半数を占める。
- ◆受講者の傾向として、更に上手になりたいというレベルアップ志向が高い。
- ◆一方、初心者に対しても安全運転、基本操作等、ニーズを十分に満たしている。
- ◆指導員資格取得を望む受講者は 40 人強いることから、指導員育成の場づくりを!!

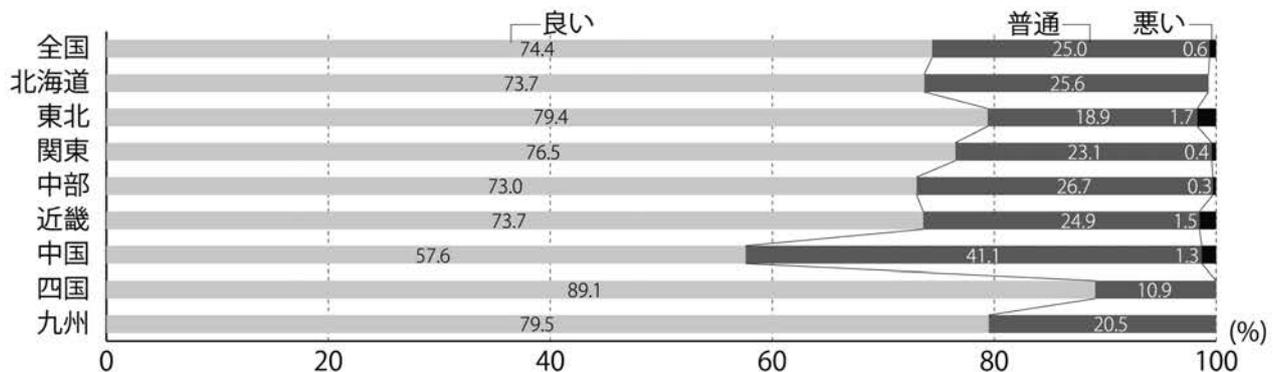
G ミーティングに参加した印象

【①講習内容】



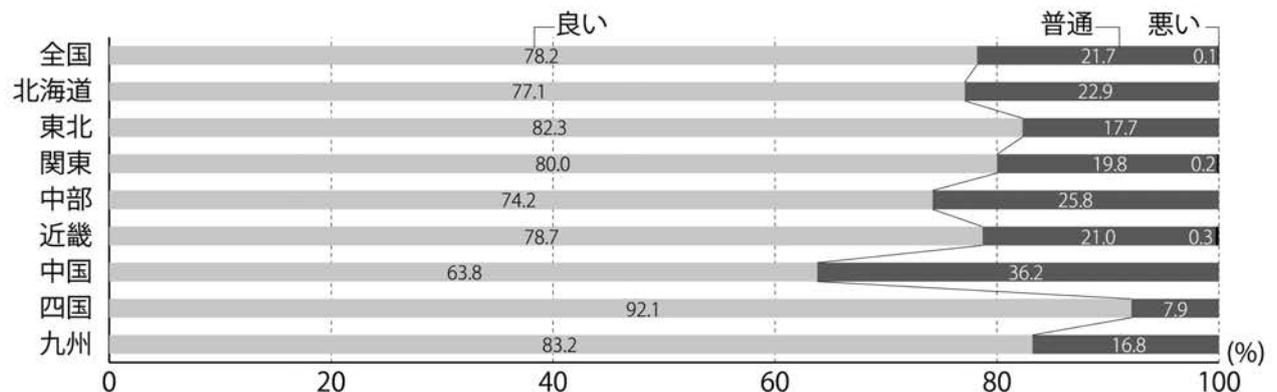
- ◆丁度良いが大多数であり、受講者の期待に応えた講習内容であると言える。
- ◆各県 GM 反省会等で、カリキュラム内容や指導員レベルアップ等の参考として下さい。
- ◆丁度良いは、前々年 84.5%⇒前年 87.5%⇒本年 89.7%と着実に評価は高まっている。

【②教え方】



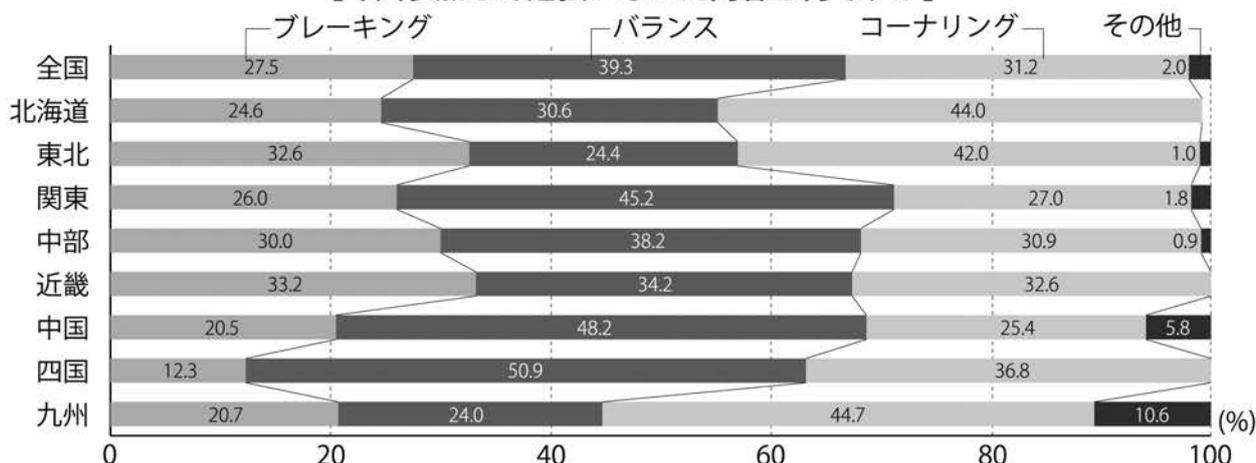
- ◆概ね「良い」であるが、「普通」回答を反省材料として捉え、印象アップの改善工夫を！
- ◆各県 GM 反省会等で、カリキュラム内容や指導員レベルアップ等の参考として下さい。
- ◆「良い」は前々年 69.4%⇒前年 73.5%⇒本年 75.1%と着実に改善されている。

【③雰囲気】



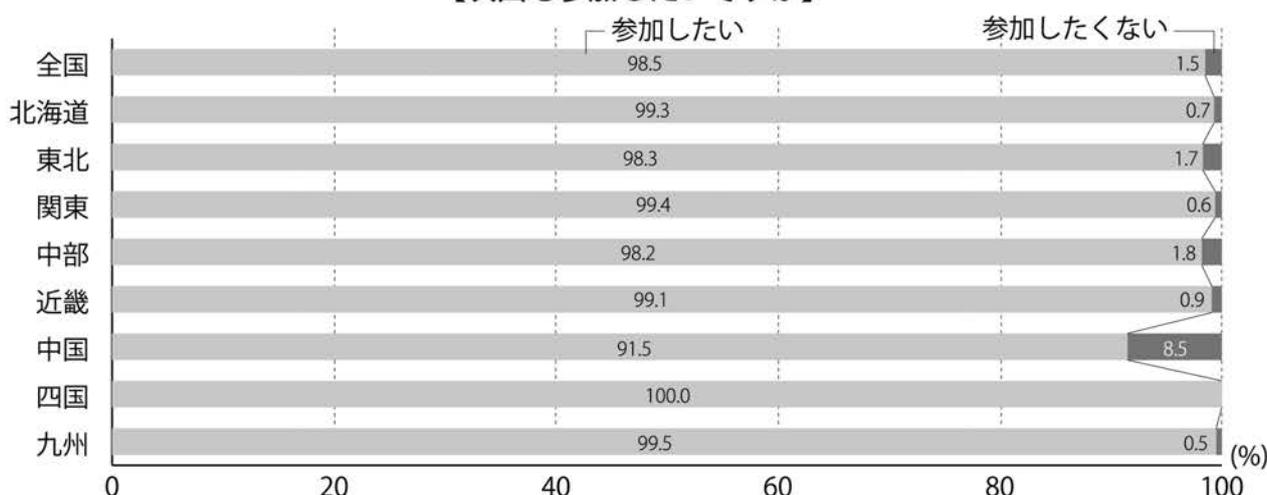
- ◆教え方同様、概ね「良い」であるが、「普通」回答を反省材料として捉え、改善工夫を！
- ◆指導員・事務局等の立振る舞いや指導に改善の余地はないか振り返りが必要。
- ◆各県 GM 反省会等で、カリキュラム内容や指導員レベルアップ等の参考として下さい。

【今回参加して勉強になった内容は何ですか】



- ◆全国平均ではバランス、コーナリング、ブレーキの順となっており、傾向に変わりはない。
- ◆ブロック別では講習内容において各地の色が出ており、一律ではない。
- ◆各県 GM 反省会等で、カリキュラム内容や指導員レベルアップ等の参考として下さい。

【次回も参加したいですか】



- ◆殆どが参加したいで、参加者の満足度の高さが窺われる。
- ◆但し、受益者負担の原則が必ずしも履行されていないので、真の満足・達成度と異なる。
- ◆各県 GM 反省会等で、カリキュラム内容や指導員レベルアップ等の参考として下さい。

【Gミーティング今後の課題】

■47 都道府県継続開催（中止時の振替日を設定）

- ◆二輪車乗車中の交通事故死傷者の割合が高い初心運転者、年齢層（若者・高齢者）への参加促進。
- ◆Gミーティング指導員マニュアルに基づいた指導方法、運営方法の標準化。
- ◆そのための各県指導員のレベルアップ研修会の実施。
- ◆地域特性を活かした層別（高校生、レディス、高齢者等）開催。
- ◆受益者負担の原則に即した講習料金の是正。
- ◆受講者アンケート取得、調査・分析による、実効性の上がる内容充実。

～二輪車交通事故抑止に寄与～

2 グッドライダー防犯登録制度の登録有効期間を延長

本年1月1日より7年から10年に延長

所有期間の長期化に対応、従前ユーザーの期間延長も

グッドライダー防犯登録制度の有効期間を、本年1月1日からこれまでの7年から10年に延長いたしました。

(1) 延長の趣旨

ユーザーの所有期間の長期化に対応したサービスの向上を図り、G防犯登録に対する期待と信頼により一層お応えし、高い満足をいただくために延長いたしました。

(2) 延長の対象

本年1月1日以降に新規ご登録される方は有効期間が10年となります。また、平成25年末以前にご登録された方でも、登録有効期間内又は登録有効期間満了後1年以内に所定の申請をしていただければ、登録時の有効期間が7年から10年に延長することができます。この延長ができる方は、平成18年から25年の間にご登録された方が対象となります。

(3) 延長手続き

平成25年末以前にご登録された方の延長手続きにつきましては、ホームページ、販売店様へのご案内の郵送等によりお知らせをしておりますが、基本的には、延長をご希望される方が、G防犯登録カードまたはG防犯登録票控のいずれかと運転免許証等の本人確認ができるものを持参し、最寄りのG防取扱い販売店にて延長申請書を作成し、ご提出していただきます。また、お近くにG防取扱いの販売店が無い場合等には当協会ホームページより「延長申請書」をダウンロードし、所定項目を記載後、直接、日本二輪車普及安全協会本部へ申し込み、その後の手続

きを進めることもできます。



以上、確実に円滑なG防犯登録の延長手続きができるよう、事務を適切に進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

併せて、G防犯登録率向上のために、更なるご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

愛車のセキュリティのために

グッドライダー 防犯登録

に加入しましょう。

見えやすい位置に貼りましょう!

**登録有効期間を
10年に延長しました**

現在登録有効期間内にある方も申し出いただければ有効期間を10年に延長致します。
詳しくは取扱い販売店にお尋ねください。

盗難防止

「グッドライダー・防犯登録」に加入し、車体の目につきやすい場所にステッカーを貼ることで盗難を抑止します。

早期発見

警察と日本二輪車普及安全協会による「二輪車盗難照会システム」で、盗難車両の早期発見につながります。

●ご加入は、取扱い販売店にお尋ねください。●ご使用中のバイクも加入できます。

一般社団法人
日本二輪車普及安全協会

http://www.jpmsa.or.jp/

3 G防・盗難照会システムの推進状況

(1) G防・盗難照会システムの仕組み

**あなたの安全とバイクを守るための
～日本二普協の盗難防止と盗品等の早期発見事業～**



(2) G防登録状況

グッドライダー防犯登録、出荷台数比75.1%

— 保有台数比22.3% 地域間格差の解消が課題 —

(一社)日本二輪車普及安全協会

(平成25年12月末)

都道府県	H25.1月～ H25.11月 出荷台数 A	H24年 3月末 保有台数 B	H24年12月末 7年満期削除済 C	登録			削除		累計	
				H25年 12月 D	H25.1月～ H25.12月 E	出荷台数 比(E/A)	H17年 12月 F	H17.1月～ H17.12月 G	H(C+E-G)	H24年保有 台数比(H/B)
北海道	3,207	205,921	12,304	1	1,024	31.9	3	1,570	11,758	5.7
青森県	1,143	82,255	10,922	8	987	86.4	21	1,556	10,353	12.6
岩手県	1,575	101,272	9,439	20	853	54.2	24	1,482	8,810	8.7
宮城県	5,590	175,516	55,378	292	6,358	113.7	293	6,869	54,867	31.3
秋田県	664	57,000	3,119	5	327	49.2	2	388	3,058	5.4
山形県	888	78,706	6,989	11	676	76.1	7	923	6,742	8.6
福島県	2,446	144,583	10,621	56	1,246	50.9	55	1,509	10,358	7.2
東北計	12,306	639,332	96,468	392	10,447	84.9	402	12,727	94,188	14.7
東京都	45,073	974,189	249,094	1,751	25,219	56.0	2,747	40,276	234,037	24.0
茨城県	5,409	239,433	26,821	186	3,477	64.3	179	2,614	27,684	11.6
栃木県	3,622	166,860	15,114	87	1,668	46.1	102	2,277	14,505	8.7
群馬県	3,203	159,564	16,404	143	2,137	66.7	148	2,270	16,271	10.2
埼玉県	22,368	571,557	170,230	1,112	15,711	70.2	1,672	24,801	161,140	28.2
千葉県	18,099	476,039	75,131	619	8,657	47.8	620	9,969	73,819	15.5
神奈川県	37,342	933,468	185,069	1,578	21,246	56.9	1,659	24,401	181,914	19.5
新潟県	2,437	181,185	11,105	14	1,081	44.4	27	1,558	10,628	5.9
山梨県	2,585	112,571	36,750	193	3,998	154.7	177	3,940	36,808	32.7
長野県	3,186	197,041	25,158	258	2,437	76.5	151	4,077	23,518	11.9
関東計	143,324	4,011,907	810,876	5,941	85,631	59.7	7,482	116,183	780,324	19.5
静岡県	14,372	432,308	50,848	289	6,479	45.1	303	5,408	51,919	12.0
富山県	901	53,275	4,230	43	635	70.5	8	513	4,352	8.2
石川県	1,274	62,819	6,363	3	500	39.2	7	1,080	5,783	9.2
福井県	835	40,097	5,588	12	505	60.5	8	817	5,276	13.2
岐阜県	2,390	120,960	7,876	107	1,007	42.1	16	532	8,351	6.9
愛知県	17,099	501,121	86,230	739	11,391	66.6	534	7,798	89,823	17.9
三重県	4,814	178,786	33,978	222	3,551	73.8	324	5,333	32,196	18.0
中部計	41,685	1,389,366	195,113	1,415	24,068	57.7	1,200	21,481	197,700	14.2
滋賀県	3,238	129,864	47,625	440	4,739	146.4	339	6,911	45,453	35.0
京都府	16,343	388,913	118,199	889	14,238	87.1	912	15,358	117,079	30.1
大阪府	44,341	966,547	388,573	3,617	43,272	97.6	3,676	57,695	374,150	38.7
兵庫県	20,334	610,852	117,589	1,009	15,939	78.4	302	4,967	128,561	21.0
奈良県	5,468	189,175	23,029	138	2,532	46.3	253	4,058	21,503	11.4
和歌山県	7,124	202,198	43,629	761	5,181	72.7	463	8,123	40,687	20.1
近畿計	96,848	2,487,549	738,644	6,854	85,901	88.7	5,945	97,112	727,433	29.2
鳥取県	662	31,747	7,531	33	670	101.2	46	1,361	6,840	21.5
島根県	1,225	49,961	19,145	76	1,656	135.2	214	3,066	17,735	35.5
岡山県	5,962	194,065	90,971	516	8,908	149.4	864	14,423	85,456	44.0
広島県	14,892	357,848	253,852	1,639	26,593	178.6	2,413	39,195	241,250	67.4
山口県	3,494	114,546	44,974	369	4,389	125.6	1,181	6,616	42,747	37.3
中国計	26,235	748,167	416,473	2,633	42,216	160.9	4,718	64,661	394,028	52.7
徳島県	2,356	85,754	11,794	84	1,369	58.1	83	1,338	11,825	13.8
香川県	3,525	119,382	9,369	117	1,979	56.1	36	531	10,817	9.1
愛媛県	9,146	222,632	116,096	1,016	12,566	137.4	1,131	17,012	111,650	50.2
高知県	3,510	112,747	28,800	163	2,857	81.4	259	3,885	27,772	24.6
四国計	18,537	540,515	166,059	1,380	18,771	101.3	1,509	22,766	162,064	30.0
福岡県	13,446	412,077	50,885	387	6,382	47.5	427	6,339	50,928	12.4
佐賀県	1,086	66,970	1,861	3	70	6.4	15	206	1,725	2.6
長崎県	4,944	161,197	10,829	66	901	18.2	112	1,672	10,058	6.2
熊本県	6,659	192,889	38,549	241	4,608	69.2	319	5,099	38,058	19.7
大分県	3,227	114,809	13,145	122	1,760	54.5	88	1,626	13,279	11.6
宮崎県	2,643	98,775	11,768	105	1,382	52.3	93	1,526	11,624	11.8
鹿児島県	6,203	198,451	36,713	179	2,874	46.3	378	7,029	32,558	16.4
沖縄県	5,848	166,877	19,624	504	3,942	67.4	134	1,196	22,370	13.4
九州計	44,056	1,412,045	183,374	1,607	21,919	49.8	1,566	24,693	180,600	12.8
全国計	386,198	11,434,802	2,619,311	20,223	289,977	75.1	22,825	361,193	2,548,095	22.3

(3) 盗難照会システムの運用状況

当協会の二輪車盗難照会システムは、平成17年から運用を開始し、公安委員会（警察）から提供を受けた二輪車の盗品データにより、二輪車販売店からの盗難照会の受理と回答を行っております。

昨年は、年間1,324,526件の照会があり、ヒット数は2,546件となっています。これを1日平均にしますと、照会件数は3,628件、ヒット数は6.9件となります。

平成17年の運用開始後の累計ですと、昨年末現在で照会件数7,454,630件、ヒット数27,161件を数えております。

今後も、二輪車の盗品売買の抑止及び不正流通の防止に有意義な盗難照会システムの普及促進を図ってまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

二輪車盗難照会システム検索／HIT集計表(平成25年1月～12月)

都道府県	加盟店数	検索性件数	HIT件数	都道府県	加盟店数	検索性件数	HIT件数
北海道	21	2,046	1	滋賀県	46	1,540	3
青森県	25	284		京都府	129	138,764	283
岩手県	25	2,580	1	大阪府	370	253,902	368
宮城県	72	6,724	16	兵庫県	191	49,124	80
秋田県	6			奈良県	31	11,319	19
山形県	20	31		和歌山県	38	1,579	1
福島県	25	992	1	近畿計	805	456,228	754
東北計	173	10,611	18	鳥取県	22	1,502	5
東京都	238	66,521	86	島根県	25	805	
茨城県	56	150,335	60	岡山県	107	2,370	
栃木県	27	5,685	8	広島県	183	8,053	7
群馬県	36	1,504	3	山口県	29	1,608	3
埼玉県	183	200,307	650	中国計	366	14,338	15
千葉県	138	66,409	96	徳島県	21	1,590	2
神奈川県	190	63,293	193	香川県	16	1,223	1
新潟県	37	1,930	1	愛媛県	117	23,069	16
山梨県	60	1,378		高知県	44	2,877	
長野県	59	1,734	1	四国計	198	28,759	19
関東計	1,024	559,096	1,098	福岡県	100	82,113	187
静岡県	74	7,529	6	佐賀県	5	992	
富山県	10	4,000	20	長崎県	15	3,125	2
石川県	9	1,959		熊本県	63	11,511	17
福井県	9	2		大分県	23	1,164	1
岐阜県	20	6,649	5	宮崎県	19	1,531	
愛知県	122	126,004	392	鹿児島県	53	1,608	2
三重県	42	1,900	4	沖縄県	28	3,361	5
中部計	286	148,043	427	九州計	306	105,405	214
				全国計	3,179	1,324,526	2,546

活動報告 < 流通環境本部 >

1 第1回 BIKE LOVE FORUM (BLF) 開催

“世界に通用する素晴らしいバイクという高揚”をテーマに!!

経済産業省主導のもと「バイク・ラブ・フォーラム in 鈴鹿」(BIKE LOVE FORUM in 鈴鹿/BLF)が9月2日(月)鈴鹿サーキットで行われました。

国内二輪車メーカーや業界団体、行政等から約180人が参加し、「我が国及び世界の二輪車市場の現状と見通し」「オートバイ利用を巡る環境・課題(規制、コスト、制約、マナー)」「安全なオートバイ(ライダー)になるためにはどうすればよいか」「カッコいいオー

トバイ(ライダー)になるためにはどうすればよいか」について官民一体で議論が交わされました。

主催者(順不同):日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本自動車輸入組合、日本二輪車普及安全協会(IJNMCA日本二輪車協会)、全国オートバイ協同組合連合会、全国二輪車用品連合会、日本二輪車オークション協会、三重県、熊本県、浜松市、鈴鹿市、大津町



前田康宏 経済産業省自動車局課長



鈴木英敬 三重県知事



末松則子 鈴鹿市長



パネルディスカッション風景

2 バイクの日 スマイル・オン 2013 開催

ヒトとバイクの未来を考える THINK BIKE

日本二輪車普及安全協会(IJNMCA日本二輪車協会)および日本自動車工業会は、8月19日(月)に『ヒトとバイクの未来を考える THINK BIKE』をテーマに、「7・8・9月はバイク月間」の主要イベントをお台場・青海J地区特設会場にて開催しました。

8月19日は「バイクの日」。この日は政府・交通安全対策本部が1989年に「819(バイク)」の語呂合わせで制定したものです。

後援(順不同):内閣府、警視庁交通部、東京湾岸警察署、全日本交通安全協会、全国軽自動車協会連合



主催者挨拶 柳委員長(日本自動車工業会二輪車特別委員会)

会、日本モーターサイクルスポーツ協会
協力（順不同）：福島県、三宅村、小鹿野町、全国二
輪車用品連合会、災害ボランティアバイクネット

ワーク関東、モビリティランド、クレタパブリッシ
ング、内外出版社、バイクプロス、モーターマガジ
ン社、八重洲出版、樞出版、造形社



様々な分野からバイクに関わりのあるゲストを招いて、それぞれの視点からバイクと自分との関わりを紹介していただき、バイクのマナー意識向上や、バイクとバイクを取り巻く環境について考えていただけるステージを展開した。ゲストは荒川静香氏、川島隆太氏、中野真矢氏、玉川美沙氏



クイーンスターズ（警視庁女性白バイ隊）のデモ走行。模擬走行（制動距離：フロントブレーキ、リアブレーキ、フロントリアブレーキ）、コーナリング（ライディングスタイル：リーンウィズ、リーンアウト、リーンイン）、ドリル走行（パイロン演技、シンクロ走行など）



警視庁によるスケアードストレートの実演。接触事故の恐怖と責任を体感させるため、スケアードストレート方式（スタントマンによる交通事故再現）の安全教育を実施した



巧みなテクニック&話術で会場を盛り上げたバイクトライアルデモ。トライアル競技を身近に感じていただいた



警視庁のご協力により、東京・埼玉・兵庫・静岡、警視庁・県警の道路電光掲示板にて「バイクの日」を掲示した。左から青梅街道・杉並車庫前、埼玉県内、兵庫県明石市

	版名	エリア(県名)	発行部数	発行日	記事体裁	内容
朝日新聞	東京本社版【朝刊】	【セット版】 東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城・山梨・静岡	433万部	8月19日(月)	記事全10段	ノッチインタビュー バイクの日告知
読売新聞	東京本社版【朝刊】	【セット版】 東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城・山梨・静岡	593万	8月19日(月)	記事全10段	荒川静香インタビュー バイクの日告知
毎日新聞	東京本社版【朝刊】 中部本社版	【セット版】 東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城・山梨・静岡 【中部版】 愛知・三重・岐阜	163万部	8月19日(月)	記事全10段	中野真矢インタビュー バイクの日告知
日経新聞	全国版【朝刊】	【全国版】 全国	305万部	8月18日(日)	記事8段	川島隆太教授 バイクの日告知
産経新聞	東京本社版【朝刊】	新潟・長野・山梨・静岡以東 の東日本エリア	97万1千部	8月19日(月)	記事全10段	多聞恵美インタビュー バイクの日告知

新聞5紙にバイク月間に関する記事を掲載し、バイクの日およびバイク月間の社会的認知の向上を図った

3 平成25年度自動車関係功労者大臣表彰

功労者表彰101名、永年勤続表彰23名が受賞!!

自動車関係功労者大臣表彰とは、国土交通省、地方運輸局が自動車関係事業の販売、整備、運輸の各分野において多年精励され、功績顕著である者を表彰する

制度ですが、平成25年度は次の方々が受賞されました。おめでとうございます。

【表彰区分：功労】

(順不同・敬称略)

運輸局	支局	店名	氏名
北海道	札幌	(株)オートランド札幌	山崎 隆士
	旭川	(有)ホンダウイングアルファ	中島 昌平
	帯広	石王輪業有限公司	石王 和彦
	釧路	(有)クロサワオート	黒澤 隆正
	室蘭	(有)オートサイクルいとう	伊藤 武
	函館	函館マジマ(株)	間島 正明
	函館	(有)大野モータース	大野 宣彦
東北	青森	(有)アサヒモーター	成田 郁久
	青森	(有)ホンダオートセンター青森	奥谷 勤
	秋田	カマダサイクル	鎌田 誠一
	岩手	(有)田中ホンダ	田中 清也
	岩手	サイクルセンター山口輪店	山口 光久
	宮城	(有)マコトレジャーハウス	齋藤 實

	宮城	(株)早坂サイクル商会	早坂 忠
	宮城	(有)服部カワサキショップ	服部 謙治
	山形	(株)ホンダウィング荘内	荒生 和人
	福島	(有)菊田モーターズ	菊田 洋一
	福島	(有)矢吹モーター商会	矢吹 正
関東	神奈川	(株)プレジヤーマイト	瀬谷 秀人
	神奈川	(有)杉本モータサイクル	杉本 辰夫
	神奈川	港北スズキ販売(株)	三田村 尚
	神奈川	(有)志村輪業	志村 政治
	神奈川	(有)栄オート	中村 昌弘
	神奈川	みどりやモーターズ	篠崎 研一
	群馬	茂木オート	茂木 光明
	東京	(有)大月ヤマハスポーツショップ	大月 信和
	東京	YSP成増	板橋 一男
	東京	(有)オートショップフルタ	古田 哲郎
	東京	(株)カワサキオートバイ多摩ショップ	金子 武人
	東京	(有)大島堅輪社	大島 敏男
	茨城	(株)ウエストウッド 井原商会	井原 啓之
	茨城	福島モーターズ	福島 峰雄
	埼玉	(有)ファミリーオートプラザ	小此木 一
	埼玉	上尾サイクルオート(有)	中山 博之
	埼玉	オートショップ たけうち	竹内 孝夫
	埼玉	(株)バイクハウスゼロ	志村 実
	埼玉	(株)ウイル	佐藤 隆一
	埼玉	上野ホンダ販売	上野 利勝
	千葉	(有)高橋オート販売	高橋 誠
	千葉	(有)ミヤシタ商会	泉谷 道夫
	千葉	YOU SHOP なべ	渡辺 恒章
	千葉	(有)秋山商事	秋山 光雄
	千葉	You Shop WATANABE	渡邊 彌助
	千葉	(有)ピットクルー	渡會 安次
	千葉	(有)袖ヶ浦ホンダ	小林 宏子
	栃木	(有)モーターサイクルショップ イワモト	岩本 徹男
	栃木	(有)大芦輪業	大芦 勝
	栃木	(株)モテギオート販売	茂木 富義
	栃木	エンドウ輪店	遠藤 芳夫
	山梨	バイクショップ藤本	藤本 和儀
	山梨	(有)ミカサ商会	小野 秀樹
北陸信越	長野	(株)ニシザワ	西澤 静子
	長野	有限会社 MOTOトライ	原 正造
	長野	茂勝輪店	茂木 勝次
	長野	駒ヶ根モーターズ	曲淵 武男
	長野	(株)モト・ヴィラ・コバヤシ	小林 邦博
	富山	サイクルショップ伊藤	伊藤 一夫
	富山	(有)ワークス マツオカ	松岡 信明
	富山	(株)ホンダトヤマ販売	中村 勇
	石川	(有)西部オート	南藤 誠一
	石川	グリーンサイクルショップ	本田 幸廣

	新潟	小林ヤマハ	小林 繁
中部	愛知	(有)ワイエスピー刈谷	石川 博文
	愛知	名西カワサキ	西村 一民
	愛知	バイクショップ有限会社ミズノ	水野 俊樹
	愛知	(株)高浜ホンダ	金原 昭行
	愛知	(有)イトモータース	伊藤 憲尚
	愛知	(株)ウイング	和田 剛
	愛知	(有)モーターショップカトウ	加藤 静利
	福井	モトクラブ	橋本 盛一
	福井	(有)島田モータース	嶋田 誠一
	三重	サンビシモータース(株)	岡田 文明
	三重	(有)ナカ	仲 功児
	岐阜	(有)モトショップ ハラセ	原瀬 猛
	岐阜	(有)堀尾	堀尾 明宣
	岐阜	モーターサイクルハウス	鈴木 純夫
	静岡	(有)畑オート	畑 要吉
中国	広島	(株)ライダーズショップ広島	加藤 松信
	広島	(株)カドヤマ自動車商会	角山 健治
	島根	湘北輪業	青砥 好右
	島根	(有)モトガイズ	恒松 浩之
	岡山	ホンダウイング福井	福井 忠士
	岡山	(株)バイクプラザヤマノ	山野 洋之助
	岡山	(有)ツーアンドフォー	増田 千明
	山口	山本二輪商会	山本 軍示
	山口	(有)山口ポインター	小川 克己
	山口	YSP宇部	藤村 幸治
四国	徳島	スポーツショップ戸田	戸田 勝
	愛媛	(有)エス・ビー・エスフルタイム	三原 達夫
九州	福岡	西江モータース	西江 三知男
	福岡	能塚モータース	能塚 龍男
	福岡	モーターランド フジモト	藤本 光彌
	福岡	(株)BC	中園 末雄
	佐賀	(有)えいじみちこ	江口 栄二
	熊本	(有)モータサイクルカワグチ	川口 健治
	大分	(有)ワイエスピー南大分	河野 一成
	大分	オートショップ ムラヤ	村谷 常夫
	宮崎	(有)東洋モータース	高間 靖智
	宮崎	(株)黒岩オートサイクル	黒岩 孝志
	鹿児島	(有)福盛モータース	福盛 光政
	沖縄	前里ホンダ	前里 勝政

【表彰区分：永年勤続】

(順不同・敬称略)

運輸局	支局	店 名	氏 名
北海道	札幌	(株)オートランド札幌	上原 篤則
	札幌	(株)アメヤマオートサイクル	東郷 芳明
東北	山形	カワサキオート酒田	輪島 弘二
	山形	(有)ナカノ	五十嵐 昌司
	福島	(有)菊田モータース	雉子波 俊広

関東	千葉	You Shop WATANABE	渡邊 康則
	東京	(株)アライモータース	河原 勝己
	埼玉	(株)原サイクル	今井 英壽
	埼玉	(有)ファミリーオートプラザ	小此木 貞子
	茨城	(株)ウエストウッド 井原商会	森田 豊
	栃木	(有)川口輪業	君島 利男
北陸信越	長野	丸二自転車有限会社	赤羽 庄作
	長野	滝ホンダ	滝 章人
	長野	(株)モト・ヴィラ・コバヤシ	小林 ちづ子
	長野	浅間技研工業(株)	篠原 俊樹
	石川	(有)きゃぶてん	中村 雅美
中部	愛知	(株)オートショップナカムラ	久保田 竜夫
	愛知	(有)モーターショップカトウ	加藤 桂子
近畿	大阪	板倉自動車株式会社	藤崎 茂
	大阪	オートショップ松本	松本 勲
中国	広島	(株)小笠原オートショップ	油谷 和久
	岡山	(有)ツーアンドフォー	増田 奈緒美
四国	高知	バイクショップ松浦	松浦 利行

4 品質評価者講習会を全国で72回開催

品質評価者在籍店率100%、品質評価の実施率100%を目指して

品質評価や品質査定の実施は、お客様からの信頼を高め、未実施店との差別化を図ることができるばかりでなく、消費者トラブルを未然に防止する効果もあります。

お客様に対するアンケートでは多くの方が、購入する際や下取りの際に不安を抱いているという結果がでております。

日本二普協では、自動車公正取引協議会、オートバイ組合など関係団体と協力して品質評価者講習会を開催しています。

本年度は、9月～12月にかけて全国で72回を開催し、3,000人以上の方が受講されました。

品質評価者制度は中古バイクの品質を表示するルールとして唯一の制度であり、品質評価者講習会を受講し評価者として認定された方のみが品質評価、品質査定を実施する事が可能となる重要な資格です。よって、1店舗につき1名以上の評価者が在籍している必要がありますが、年々向上はしているものの、現在の在籍率は69%の状態です。

自動車公正取引協議会では平成27年に品質評価者在



講習の模様



講習会マニュアル

籍店率100%、品質評価の実施率100%実現を目標に掲げており、日本二普協としてもその実現に向け諸活動を推進してまいります。

また、未だ、品質評価者が未在籍のお店がございましたら、秋からの講習会を受講頂き、信頼される業界作りにはぜひともご協力くださいますようお願い致します。

5 2014年 MFJ 主要カレンダー

日本モーターサイクルスポーツ協会は2014年の各種の全日本選手権を始めとしたモーターサイクルスポーツカレンダーを発表しました。

2014年 MFJ主要スポーツカレンダー ※本カレンダーは変更される場合がございます。

月	日	ロードレース	モトクロス	トライアル	スノーモビル	エンデューロ	Sモータード
1	12						
	19						
	26				①SN新潟(タイナイスキー場)		
2	2				②SN長野(斑尾高原)		
	9				③SN北海道(真狩)		
	16				④SN北海道(土別)		
	23						
3	2				⑤SN北海道(美瑛)		
	9			関東大会①(まかべTRランド)			
	16						
	23						
	30						
4	6		九州①(HSR)				
	13	全日本① 鈴鹿2&4					
	20		関東② (オフロードビレッジ)	近畿大会② (名阪スポーツランド)			
	27	全日本② オートポリス		世界選手権TR 日本GP(もてぎ)			美浜①
5	4						
	11		中国大会③ (グリーンパーク弘楽園)	九州大会③ (フィールド幸楽)			
	18					①広島 Rd① テージャスランチ	琵琶湖②
	25	全日本③ もてぎ					
6	1						
	8		SUGO大会④ (スポーツランドSUGO)				
	15						茂原③
	22						エビス③
	29	全日本④ SUGO					
7	6						TSタカタ④
	13						
	20		東北大会⑤ (藤沢スポーツランド)	北海道大会④ (わっさむサーキット)			
	27	世界選手権 鈴鹿8時間耐久レース				②近畿 Rd② プラザ阪下	
8	3		SUGO大会⑥ (スポーツランドSUGO)				
	10						
	17						
	24	全日本⑤ もてぎ2&4					SUGO⑤
	31						
9	7	アジアRD 鈴鹿		中国大会⑤(原瀧山TRパーク)			
	14	全日本⑥ スーパー2&4	近畿大会⑦ (名阪スポーツランド)	TR Des Nations (アンドラ)			
	21					③日高2DAYS Rd③④(20-21)	HSR九州⑥
	28	全日本⑦ 岡山	Mx of Nations (Kegmus ラトビア)				
10	5		中国大会⑧ (グリーンパーク弘楽園)				
	12	MotoGP motegi		中部大会⑥ (キョウセイドライブランド)			
	19						名阪⑦
	26		第52回MFJGP⑨ (スポーツランドSUGO)	東北大会⑦ (スポーツランドSUGO)			
11	2	全日本⑧ MFJGP 鈴鹿				ISDE(アルゼンチン) 11/3~11/8	
	9			TRGC (スポーツランドSUGO)			
	16					WERIDE 三宅島	
	23					④SUGO2DAYS Rd⑤⑥(22-23)	

都府県地区支所会長・事務局長会議を開催

統合後の当面の業務運営等について審議

当協会は、平成25年12月3日、東京千代田区のアルカディア市ヶ谷で、組織統合後初めてとなる都府県地区支所会長・事務局長会議を開催しました。

会議では、統合に伴う当面の業務運営について審議しました。

次いで、事務局から安全本部及び流通環境本部の活動推進状況についての説明の後、引き続き、優良地域団体40団体及びG防犯登録制度推進優良販売店137店の表彰式を執り行い、受賞者代表3名の方に会長から表彰状を授与しました。

当日、ご出席された受賞者代表は次の方々です。

○優良地域団体代表

- ・ 深川二輪車安全普及協会 会長 本田 傳 様
- ・ 池袋二輪車安全普及協会 会長 田口 輝己様

・ 中野二輪車安全普及協会 会長 野村 圭司様
ご来賓の警察庁の山岸直人運転免許課長からは会議の席上において、また青山彩子生活安全企画課犯罪抑止対策室長からは意見交換会においてご挨拶をいただきました。

当日、ご出席されたご来賓は、次の方々です。

- 警察庁運転免許課長 山岸 直人 様
- 同 課長補佐 松岡 隆 様
- 警察庁生活安全企画課
犯罪抑止対策室長 青山 彩子 様
- 同 課長補佐 上條 浩一 様
- 経済産業省自動車課
課長補佐 武 喜久雄 様



会議全景



表彰式



都府県地区支所会長・事務局長会議あいさつ

一体感を持って事業を積極的に展開

会長 福井 威夫

皆さんには、都府県地区の活動現地において、日々精励いただき、二輪車ユーザーの安全、防犯の確保、流通環境の整備等にご尽力いただいておりますことに、敬意と謝意を表する次第であります。

当協会は、本年10月1日に二輪車関係団体が組織統合して一般社団法人日本二輪車普及安全協会として新たな歩みを始めることとなりました。

今回の統合は、統合時の各団体の役職員と実施事業

を継承し、これらを一体的に組織化し各種業務を推進することによって、より効率的で効果的な事業の実施を図っていくことを目的に行ったものであります。この目的を実現し、その成果を収めていくためには、本部の的確な方針の下に本部と支所が相互に緊密な報告、連絡、指導助言あるいは意見具申等を行い、一体感を持って各事業を積極的に展開していくことが最も重要であります。また、これまで各種事業の推進に支

援、協力をいただいた個人や関係機関団体との関係を引続き維持、強化していくことも重要であります。

そこで、本日の会議におきましては、当面の業務運営上必要となる業務推進体制及び業務推進要領等についてご説明するとともに、今後の活動の参考にしていただくため、現在の状況についてご説明することにしております。

皆様方には二輪車を取り巻く諸情勢が大変厳しい

中、日々、何かと御苦勞も多いことかと思いますが、二輪車ユーザーが広がり、より安全で快適なバイクライフを享受できるよう、関係機関団体と緊密な連携を図りながら、各種二輪車対策事業を積極的に展開していただきますようお願いいたします。

終わりにになりましたが、本日も出席の皆様の一層のご活躍を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

都府県地区支所会長・事務局長会議来賓あいさつ



高齢運転者に対する対策の強化を

警察庁交通局運転免許課長 山岸 直人

貴協会におかれましては、本年10月1日から日本二輪車普及安全協会として新組織による活動をスタートされたことに対し、心からお祝いを申し上げますとともに、二輪車への交通安全対策と防犯対策につきまして一方ならぬご尽力を賜っております。この場をお借りし、改めてお礼を申し上げます。

また、ただいま、二輪車の交通安全普及活動及び防犯登録制度の普及促進に多大な貢献をされたご功績により表彰された方々を含め、今回表彰された各県の二輪車普及安全協会会員の皆様に心からお祝いを申し上げます。皆様の日々の地道な活動こそが交通事故や犯罪を抑止しているものであり、本当に頭が下がります。

さて、ご案内のとおり、昨年交通事故につきましては、死者数が4,411人で12年連続の減少となりました。今年の上半期は13年ぶりに前年を上回るなど厳しい情勢でありましたが、7月以降、皆様をはじめ各方面の懸命の努力により、昨日時点では前年比マイナス20人の3,912人と、わずかではありますが減少に転じております。今年交通事故死者数は昨年よりも少しでも下回るよう、警察としましては、この12月各地域の交通事故の実態に応じた積極的な街頭活動等様々な

取り組みを行っていく所存です。

加えて、平成27年までに死者数を3,000人以下とし、世界一安全な道路交通を実現するという政府目標の達成に向けましては、よりいっそう関係機関、団体、事業者、学校、地域等々と緊密に連携を取り、日々の地道な活動と中長期的な取り組みをうまく噛み合わせながら対策を進めることが重要です。

また、二輪車の交通事故の状況を見ますと、死者数は、10月末時点で623人と前年比22人の減少となっている一方、高齢者の自動二輪車運転者による死者数が10人増加するなど、今後高齢運転者の増加率を考えれば、高齢運転者に対する教育も引き続き強化していかなければならないと考えています。

皆様方におかれましては、グッドライダーミーティングをはじめとする各種体験型実技講習会の実施や、高齢者を含め事故発生割合の高い年齢層に焦点を当てた安全運転講習会の開催など、二輪車の安全運転普及活動の展開に今後ともご尽力いただきますようお願いする次第です。

結びに貴協会のますますのご発展とご参会の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

都府県地区支所会長・事務局長会議意見交換会来賓あいさつ



G防登録率の向上にさらなる努力を

警察庁生活安全局生活安全企画課 犯罪抑止対策室長 青山 彩子

ただ今、ご紹介をいただきました、警察庁生活安全企画課犯罪抑止対策室長の青山でございます。

本日は、一般社団法人日本二輪車普及安全協会の都

府県地区支所会長・事務局長会議意見交換会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

また、皆様方には、平素より警察行政全般にわたり

ご協力をいただいておりますことに対しまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、現下の治安情勢について申し上げますと、刑法犯認知件数は10年連続で減少し、平成14年のピーク時の半数以下となるなど、官民連携した対策の推進により治安は確実に改善してきたところであります。

一方で、昨年内閣府が行った特別世論調査では、最近10年で治安がどのように変化したかという質問に対し、「悪くなったと思う」又は「どちらかといえば悪くなったと思う」と回答した者の割合が全体の8割以上を占めるなど、依然として国民の不安感の解消には至っていない情勢にあります。

その要因としては、ストーカー、配偶者暴力、児童虐待、いじめ事案といった女性や子供が被害者となる犯罪の増加、高齢者を狙った振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺による被害の多発やサイバー犯罪等新たな形態の犯罪の発生等が考えられます。

警察としても国民の治安に対する不安を解消し、体感治安を高めていくため、犯罪抑止に向けた取組を強化するなど、防犯と検挙の両面から治安再生に向けた施策を推進しているところであります。

また、二輪車盗難の認知件数につきましても、平成12年の25万件をピークに減少傾向を示し、本年は10月末現在では、前年同期比6,800件減少の約44,000件となっております。

これは、二輪車盗難照会システムを活用している貴協会を始め、二輪車関係団体の皆様方の二輪車盗難の防止や被害品の発見、流通防止に関した取組の成果であると考えており、心から敬意を表する次第です。

警察庁といたしましても、皆様との連携を密にしながら、二輪車の盗難をはじめとする各種犯罪の防止にこれからも万全を期していく所存ですので、皆様方におかれましても引き続き御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

他方、貴協会で推進しているグッドライダー防犯登録の加入率は未だ20%台と低調な状態が続いております。

本日の会議では、グッドライダー防犯登録を積極的に推進した地域や販売店に対する表彰が行われたとお聞きしておりますが、今後とも創意工夫を凝らし、かつ、全国オートバイ協同組合連合会等の関係団体との連携を強化するなどして、グッドライダー防犯登録率の向上に向けて一層取り組んでいただくことを期待しております。

結びになりますが、日本二輪車普及安全協会の御発展と本日御参会の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、簡単ではございますが私の挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

優良販売店137店、優良地域団体40団体を表彰

「平成25年度日本二普協会長表彰」

グッドライダー防犯登録制度推進優良販売店

計137店（順不同・敬称略）

都府県地区名	店名	代表者氏名
札幌	ホンダドリーム札幌 井上モーターサイクル商会	佐藤 晃夫 井上 富夫
旭川	有限会社 ホンダウィングアルファ 有限会社 モーターサイクルプロショップ Zip	中島 昌平 北村 久志
帯広	有限会社 びとう商会	尾藤 真誠
青森	YSP 八戸 YSP 青森 有限会社 ブルーフォーレスト	三浦 健至 成田 郁久 中村 卓三

岩 手	株式会社 クボトラ モト スペース ウインディ 花巻オー	米 澤 誠 司 武 内 浩 照 井 清
宮 城	株式会社 早坂サイクル商会 株式会社 ティーズ ホンダドリーム仙台泉	早 坂 武 高 橋 新一郎 加 藤 幸 寿
秋 田	ワサキシヨップ グッドラック ホンダウイングトダテ	芳 賀 常 幸 戸 館 和 夫
山 形	株式会社 早坂サイクル商会 山形店 ライダーショップナカノ 有限会社 カーセンター葵商	野 呂 拓 中 野 義 男 木 村 嘉 一
福 島	SBS会津 ライトオン 大竹輪業商会 有限会社 松坂屋商会	山 田 勝 広 大 竹 甲子郎 平 山 雄 一
東 京	ホンダドリーム板橋 小林オートショップ YSP東京南	川 端 唯 久 小 林 喬 一 山 口 玩 一
茨 城	有限会社 木村輪業 株式会社 ウエストウッド 井原商会 ホンダドリームつくば南	木 村 茂 井 原 啓 之 小 森 敏 光
栃 木	バイカーズステーションSOX SBS足利 ホンダドリーム宇都宮 有限会社 川口輪業	佐 藤 隆 一 岡 康 夫 川 口 靖 雄
群 馬	株式会社 バイカーズステーションソックス 大泉店 ホンダドリーム高崎 ホンダドリーム桐生	佐 藤 隆 一 五十嵐 孝 光 河原井 弘 弘
埼 玉	株式会社 弁慶 SBS川口南 有限会社 キャビン	林 青 雲 佐 藤 隆 一 浅 見 富士雄
千 葉	スズキワールド船橋 有限会社 袖ヶ浦ホンダ 五井店 SOX柏店	中 村 太 一 小 林 宏 子 佐 藤 隆 一
神 奈 川	YOKOHAMA セラビィ 丸富オート販売 株式会社 戸塚店 有限会社 サカエオート	小 川 司 長 田 憲 治 中 村 昌 弘
新 潟	株式会社 ブライトン 桜井 輪店 本店 有限会社 SBS青山	河 内 武 志 桜 井 春 雄 古 俣 章
山 梨	バイク&サイクルスパーク ホンダウイングPORT 古川輪業	岡 田 俊 秀 吉 田 郁 男 古 川 富 雄
長 野	ホンダドリーム松本 ホンダショップナガノ 有限会社 モトロマン	赤 羽 博 巳 長谷川 喜久雄 中 澤 明 二

静岡	YSP浜松 カワサキプラザ静岡 YSP焼津	和田茂 大串英樹 渡辺昇八
富山	有限会社 ワークスマツオカ モトショップエムズ YSP富山東	松岡信明 松野暁人 叶井廉
石川	MOTOR HOUSE BIKE ON 金沢田上店 二輪館にしむら 有限会社 城北カワサキ	片岡匡史 西村健一 山本正
福井	株式会社 バイクガレージ福井 赤い三輪車 株式会社 ホンダ販売敦賀	出口幸宏 小林幸広 中河義隆
岐阜	竹村輪業 YSP各務原東 オートショップ タケカワ	竹村千奈美 堀尾明宣 武川充利
愛知	株式会社 イトー KT YSP天白 バイクショップ ハタノ	伊藤達也 小島恵美 畑野雅浩
三重	長谷川モータース 有限会社 ホンダショップヒナガ 岡本商会	長谷川一三 豊田良平 岡本浩明
滋賀	ホンダドリーム滋賀 貝谷商会 有限会社 溝口オート商会	青木洋志 貝谷文行 溝口武
京都	有限会社 ワイ・エス・ピー伏見 SUZUKIWORLD京都南 ミナトホンダ販売	桑野豊 橘秀祐 湊兼一
大阪	アルファオート ホンダワールド株式会社 大本オートサービス	深澤純 辻昭至 大本暁
兵庫	YSP加古川 株式会社 プロショップキヨ ホンダオートファミリー	福田豊子 清原明彦 小西将則
奈良	株式会社 松谷輪業 旭日産業有限会社 ツーリングプラザ YOUSHOP MS生駒	松谷恵司 武田康人 檜内孝史
和歌山	ホンダドリーム和歌山 高居自転車店 紀の川2輪	林英成 高居義明 永田勝也
鳥取	ライダーズスポットムラタ オートセンター沢正	村田守孝 澤田昭正
島根	バイクショップマルティ 松江店 有限会社 ワープ田中オート 有限会社 浜田ホンダ	田中昌昭 細田耕二 濱田富弘

岡山	YSP岡山南 有限会社 ホンダウイングカドヤ いただにバイクショップ	森石知治 久間慶夫 板谷 暎
広島	キハラサイクルショップ バイクハウスてらそ 旭技研サービス	木原戴徳 寺曾隆明 榎 章吾
山口	周防輪業 有限会社 オオセト 有限会社 バイクシティ若木	住原健治 大瀬戸隆則 若木 勝利
徳島	有限会社 インデイズ 有限会社 山橋商会 有限会社 國見オート商会	山口裕治 山橋 諄亮 國見 力
香川	株式会社 バイクプラザ丸亀 ホンダドリーム高松 高橋輪業	高木健司 店長 金子紀明 高橋 優
愛媛	有限会社 タクボ 高橋商会 オートショップ松岡	田窪良章 高橋孝仁 松岡 好一
高知	有限会社 オートショップチャレンジ 朝倉モーターズ 有限会社 西内商会	裏正 一 掛水六男 西内 泰明
福岡	ホンダドリーム飯塚 バイクショップフォーラム福岡南 オートランド福岡	佐藤英俊 白石貴司 楠 秀雄
長崎	水ノ浦自転車店 YSP長崎 堀内モーターズ	山崎和昭 立山伸一 堀内 規好
熊本	モーターサイクルカワグチ オートショップアイコー モトショップカワモト	川口健治 愛甲春男 川元 光明
大分	有限会社 西日本オート サノサイクル Oidear	楠瀬正治 佐野 等 松田 善樹
宮崎	合資会社 甲斐ホンダ商会 有限会社 東洋モーターズ	甲斐 恵 高間 智弘
鹿児島	有限会社 福盛モーターズ 山元モーターサイクル 山下モーターズ	福盛光政 山元 隆 山下 浩行
沖縄	ホンダドリーム沖縄 諸見スズキオート 金城オート	与那嶺真哉 諸見 信恭 金城 清正

優良地域団体

計40団体（順不同・敬称略）

都府県地区名	優良地域団体名称	代表者氏名
青 森	八戸地区二輪車安全普及協会	田 島 昇
岩 手	岩手県二輪車普及安全協会ブロック会	田 中 清 也
宮 城	宮城県二輪車普及安全協会 中央北ブロック会	齋 藤 實
秋 田	秋田地区二輪車普及安全協会	鎌 田 誠 一
山 形	鶴岡二輪車普及安全協会	遠 藤 和 夫
福 島	福島県二輪車普及安全協会 福島支部	半 澤 松 三
東 京	深川二輪車安全普及協会 池袋二輪車安全普及協会 中野二輪車安全普及協会	本 田 傳 田 口 輝 己 野 村 圭 司
茨 城	茨城県二輪車普及安全協会 境支部	木 村 茂
栃 木	宇都宮東地区二輪車普及安全協会	岡 康 夫
埼 玉	草加・八潮地区二輪車普及安全協会 東入間地区二輪車普及安全協会	森 井 幸 廣 上 野 利 勝
神 奈 川	横須賀二輪車安全普及協会 相模原二輪車安全普及協会	鈴 木 孝 秀 平 野 憲一郎
静 岡	静岡県浜松地区二輪車安全普及協会	稲 垣 寛 治
岐 阜	岐阜県二輪車普及安全協会 大安支部	中 谷 功
愛 知	愛知県二輪車普及安全協会 豊橋支部	中 村 準治郎
三 重	三重県二輪車普及安全協会 久居支部	印 南 賢 治
大 阪	摂津地域二輪車普及安全協会 松原地域二輪車普及安全協会 城東地域二輪車普及安全協会	玉 井 正 道 新 田 房 義 会長代理 渡邊清和
和 歌 山	和歌山北地域二輪車普及安全協会	妙 中 清
鳥 取	鳥取県西部二輪車安全普及協会	青 戸 亨
島 根	大田地区二輪車安全普及協会	勝 部 一 央
岡 山	東備地区二輪車安全普及協会	角 野 和 明
広 島	音戸地区二輪車安全普及協議会 加計地区二輪車安全普及協議会	道 方 隆 小 玉 克 明
山 口	山口県二輪車普及安全協会 宇部ブロック	藤 村 幸 治
徳 島	徳島県二輪車普及安全協会 徳島東支部	山 橋 諄 亮
愛 媛	愛媛県二輪車普及安全協会 松山東支部	稲 垣 進
高 知	高知県二輪車普及安全協会 高知南支部	裏 正 一
福 岡	福岡県城島地区二輪車普及安全協会 福岡県八幡地区二輪車普及安全協会	佐 藤 勝 幸 西 江 三知男
熊 本	熊本県南地区二輪車普及安全協会	福 島 武 光
大 分	大分中央地区二輪車普及安全協会	小 野 政 弘
宮 崎	延岡地区二輪車普及安全協会	虎 取 好 明
鹿 児 島	指宿地区二輪車普及安全協会 鹿屋地区二輪車普及安全協会	岡 元 繁 人 松 井 貞 章
沖 縄	沖縄県二輪車普及安全協会 宜野湾支部	崎 間 保

県地区軽自動車協会専務理事に県地区支所事務局長を委嘱

当協会の前身である二輪車安全運転普及協議会は、昭和46年11月24日に二輪車の交通事故防止対策の推進を図るため、自動車工業会及び全国軽自動車協会連合会により設立され、初代会長に全国軽自動車協会連合会会長の石塚秀男氏、副会長に日本自動車工業会理事事務局長の桜井淑雄氏がご就任されました。その後、全国二輪車安全普及協会への改編を経て、一昨年4月から一般社団法人に移行し、昨年10月1日、NMCA日本二輪車協会、8地区二輪車協会及び53都府県地区二

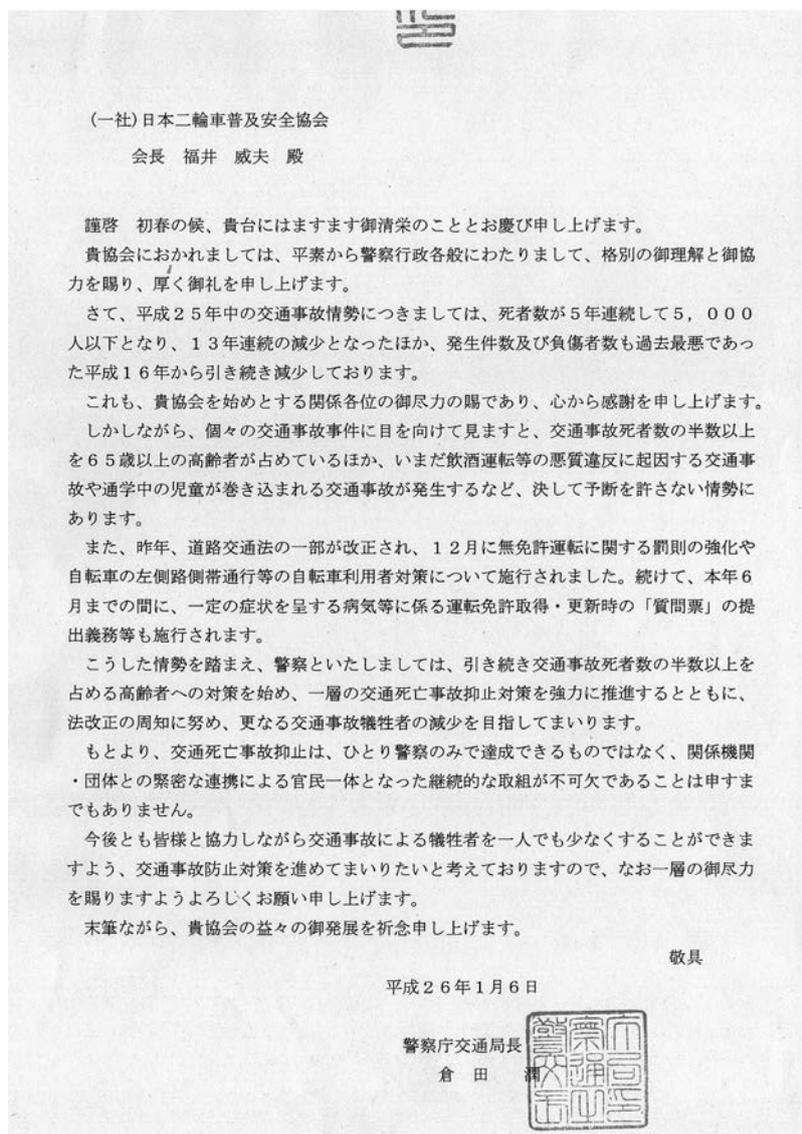
輪車安全普及協会と組織統合し、一般社団法人日本二輪車普及安全協会となりました。

昨年10月1日の組織統合に伴いまして、全国53都府県地区支所のうち、下記の17県地区の軽自動車協会の専務理事の皆様にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

氏名（敬称略）	当協会委嘱職名
山本 光明	旭川地区二輪車普及安全協会事務局長
児玉 賢次	釧路地区二輪車普及安全協会事務局長
葎谷 勉	帯広地区二輪車普及安全協会事務局長
成田 啓	北見地区二輪車普及安全協会事務局長
杉山 利幸	函館地区二輪車普及安全協会事務局長
新山 陽悦	青森県二輪車普及安全協会事務局長
藤田 栄	秋田県二輪車普及安全協会事務局長
江目 一正	山形県二輪車普及安全協会事務局長
羽田 豊秋	福島県二輪車普及安全協会事務局長
標 幸一	山梨県二輪車普及安全協会事務局長
横山 清司	富山県二輪車普及安全協会事務局長
佐々木和久	三重県二輪車普及安全協会事務局長
松村 孝夫	山口県二輪車普及安全協会事務局長
橋口 一久	長崎県二輪車普及安全協会事務局長
岡田 敏彰	大分県二輪車普及安全協会事務局長
岡村 孝慶	鹿児島県二輪車普及安全協会事務局長
登野原 功	沖縄県二輪車普及安全協会事務局長

警察庁交通局長からの感謝状

警察庁交通局長の倉田 潤様から、当協会の交通安全活動に対しまして感謝状をいただいておりますので、ご披露いたします。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

当協会は昨年10月1日に組織統合し、新たな歩みを始めて早や3カ月余が過ぎました。今後、協会としてクリアすべき課題もありますが、その課題を一つひとつ克服していくため、職員一同心をひとつにして協会活動に積極的に取り組んでまいりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

本年もよろしくお願い申し上げます

(一社)日本二輪車普及安全協会

会長 福井 威夫
専務理事 佐藤 忍
常務理事 太田 昭雄
職員 一 同

統計 1 二輪車盗難認知及び被害回復件数

昨年11月末の二輪車盗難件数、前年同期比13.7%減

— 被害回復率45.0%、30県で回復率アップ —

(平成25年11月末/警察庁資料)

盗難認知/被害回復状況

(一社)日本二輪車普及安全協会

都道府県	G防普及率 H25年11月	平成23年			平成24年			平成24年 1月～11月			平成25年 1月～11月		
		盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率
北海道	5.7	352	209	59.4	370	236	63.8	364	144	39.6	353	194	55.0
青森県	12.6	33	17	51.5	21	10	47.6	21	9	42.9	22	10	45.5
岩手県	8.7	39	9	23.1	39	14	35.9	39	13	33.3	12	12	100.0
宮城県	31.3	618	298	48.2	455	247	54.3	423	221	52.2	454	253	55.7
秋田県	5.4	15	11	73.3	13	10	76.9	13	10	76.9	5	2	40.0
山形県	8.6	54	24	44.4	46	23	50.0	45	19	42.2	26	5	19.2
福島県	7.2	200	130	65.0	162	94	58.0	156	89	57.1	112	66	58.9
東北計	14.7	959	489	51.0	736	398	54.1	697	361	51.8	631	348	55.2
東京都	24.1	6,429	1,839	28.6	5,023	1,647	32.8	4,700	1,534	32.6	3,629	1,328	36.6
茨城県	11.6	1,690	301	17.8	1,624	196	12.1	1,540	185	12.0	1,264	237	18.8
栃木県	8.7	372	49	13.2	413	57	13.8	375	54	14.4	323	49	15.2
群馬県	10.2	569	218	38.3	586	197	33.6	546	180	33.0	500	176	35.2
埼玉県	28.3	4,658	909	19.5	4,096	863	21.1	3,804	783	20.6	2,841	636	22.4
千葉県	15.5	3,105	1,297	41.8	3,051	1,068	35.0	2,845	978	34.4	2,702	1,023	37.9
神奈川県	19.5	7,151	3,202	44.8	5,838	2,949	50.5	5,412	2,691	49.7	4,588	2,402	52.4
新潟県	5.9	148	57	38.5	124	56	45.2	118	52	44.1	119	35	29.4
山梨県	32.7	770	352	45.7	819	389	47.5	733	357	48.7	748	344	46.0
長野県	11.9	176	86	48.9	174	89	51.1	155	82	52.9	200	116	58.0
関東計	19.5	25,068	8,310	33.1	21,748	7,511	34.5	20,228	6,896	34.1	16,914	6,346	37.5
静岡県	12.0	1,394	818	58.7	1,049	635	60.5	981	595	60.7	981	655	66.8
富山県	8.1	67	47	70.1	71	38	53.5	68	30	44.1	55	31	56.4
石川県	9.2	103	68	66.0	95	31	32.6	92	30	32.6	64	37	57.8
福井県	13.1	124	77	62.1	89	42	47.2	85	37	43.5	99	40	40.4
岐阜県	6.8	586	333	56.8	711	446	62.7	662	412	62.2	590	374	63.4
愛知県	17.9	3,878	933	24.1	3,366	930	27.6	3,123	850	27.2	2,912	889	30.5
三重県	18.1	874	421	48.2	845	481	56.9	779	445	57.1	827	345	41.7
中部計	14.2	7,026	2,697	38.4	6,226	2,603	41.8	5,790	2,399	41.4	5,528	2,371	42.9
滋賀県	34.9	622	177	28.5	573	213	37.2	536	191	35.6	642	234	36.4
京都府	30.1	2,975	1,302	43.8	2,219	1,137	51.2	2,093	1,052	50.3	1,930	936	48.5
大阪府	38.7	8,707	3,266	37.5	7,648	2,938	38.4	7,131	2,723	38.2	5,957	2,267	38.1
兵庫県	20.9	5,060	1,804	35.7	4,889	2,055	42.0	4,580	1,875	40.9	4,055	1,815	44.8
奈良県	11.4	828	374	45.2	729	392	53.8	653	355	54.4	626	348	55.6
和歌山県	20.0	457	215	47.0	429	202	47.1	399	193	48.4	344	163	47.4
近畿計	29.2	18,649	7,138	38.3	16,487	6,937	42.1	15,392	6,389	41.5	13,554	5,763	42.5
鳥取県	21.6	60	34	56.7	34	35	102.9	31	35	112.9	40	22	55.0
島根県	35.8	35	23	65.7	22	21	95.5	19	18	94.7	13	13	100.0
岡山県	44.2	1,675	1,035	61.8	1,465	946	64.6	1,375	871	63.3	1,067	776	72.7
広島県	67.6	1,190	765	64.3	1,080	683	63.2	1,027	637	62.0	747	498	66.7
山口県	38.0	189	78	41.3	230	102	44.3	217	89	41.0	135	53	39.3
中国計	52.9	3,149	1,935	61.4	2,831	1,787	63.1	2,669	1,650	61.8	2,002	1,362	68.0
徳島県	13.8	130	84	64.6	108	51	47.2	96	47	49.0	124	64	51.6
香川県	9.0	572	268	46.9	484	260	53.7	459	245	53.4	359	179	49.9
愛媛県	50.2	1,140	401	35.2	932	278	29.8	854	264	30.9	908	322	35.5
高知県	24.7	320	204	63.8	253	158	62.5	228	145	63.6	208	124	59.6
四国計	30.0	2,162	957	44.3	1,777	747	42.0	1,637	701	42.8	1,599	689	43.1
福岡県	12.4	7,066	4,411	62.4	6,399	4,012	62.7	6,037	3,700	61.3	4,650	3,038	65.3
佐賀県	2.6	340	235	69.1	203	141	69.5	176	127	72.2	239	184	77.0
長崎県	6.3	192	133	69.3	150	89	59.3	134	82	61.2	186	96	51.6
熊本県	19.8	584	381	65.2	783	572	73.1	726	532	73.3	656	446	68.0
大分県	11.5	399	219	54.9	363	178	49.0	336	165	49.1	305	162	53.1
宮崎県	11.8	126	68	54.0	166	88	53.0	157	79	50.3	137	62	45.3
鹿児島県	16.5	444	270	60.8	347	283	81.6	328	247	75.3	262	181	69.1
沖縄県	13.2	1,260	389	30.9	883	260	29.4	801	243	30.3	831	296	35.6
九州計	12.8	10,411	6,106	58.6	9,294	5,623	60.5	8,695	5,175	59.5	7,266	4,465	61.5
全国計	22.3	67,776	27,841	41.1	59,469	25,842	43.5	55,472	23,715	42.8	47,847	21,538	45.0

(注) G・防普及率
11月末G防果計件数
H24年3月保有台数

<H23対H24比較>
①盗難認知件数 -8,307 -12.3%

・前年同期間比較 ①認知件数 -7,625 -13.7%

②認知件数の増減(県の数) ③回復率の増減(県の数)

認知件数の増減(県の数)		回復率の増減(県の数)	
増減	県数	増減	県数
認知増	14	回復率ダウン	17
認知減	32	回復率アップ	30
計	46	計	47

統計 2 交通事故死者数

昨年11月末の交通事故死、前年同期比26人減

— 二輪車乗車中は34人減 —

(平成25年11月末／警察庁資料)

	自二車乗車中死者数			原付車乗車中死者数			二輪車乗車中死者数			全死者数		
	25年 11月末	増減数	24年 11月末									
北海道	18	1	17	2	-3	5	20	-2	22	164	-15	179
東 青森	2	-1	3	1	-2	3	3	-3	6	42	-10	52
岩手	3	-2	5	4	1	3	7	-1	8	68	-7	75
宮城	11	9	2	3	1	2	14	10	4	81	23	58
北 秋田	0	-1	1	1	0	1	1	-1	2	40	3	37
山形	0	-2	2	1	-1	2	1	-3	4	30	1	29
福島	9	6	3	2	-6	8	11	0	11	69	-15	84
計	25	9	16	12	-7	19	37	2	35	330	-5	335
東 京	26	-11	37	9	4	5	35	-7	42	148	-5	153
関 茨城	8	0	8	13	0	13	21	0	21	146	19	127
栃木	8	2	6	4	-3	7	12	-1	13	92	8	84
群馬	4	-9	13	3	1	2	7	-8	15	66	-32	98
埼 玉	27	4	23	11	-7	18	38	-3	41	168	-10	178
千 葉	21	2	19	11	0	11	32	2	30	168	11	157
東 神奈川	41	-3	44	18	6	12	59	3	56	149	-8	157
新 潟	8	0	8	7	1	6	15	1	14	92	-6	98
山 梨	2	-5	7	1	1	0	3	-4	7	35	-3	38
長 野	10	-3	13	4	3	1	14	0	14	89	2	87
静 岡	19	-6	25	19	7	12	38	1	37	160	22	138
計	148	-18	166	91	9	82	239	-9	248	1,165	3	1,162
中 富 山	2	-1	3	3	2	1	5	1	4	43	0	43
石 川	2	0	2	3	2	1	5	2	3	53	15	38
福 井	4	2	2	3	2	1	7	4	3	51	18	33
岐 阜	9	-1	10	6	-3	9	15	-4	19	116	5	111
愛 知	18	-4	22	15	2	13	33	-2	35	191	-19	210
三 重	8	1	7	6	-7	13	14	-6	20	82	1	81
計	43	-3	46	36	-2	38	79	-5	84	536	20	516
近 滋 賀	6	1	5	3	-2	5	9	-1	10	67	-3	70
京 都	11	-5	16	6	-8	14	17	-13	30	63	-34	97
大 阪	30	4	26	16	0	16	46	4	42	162	-5	167
兵 庫	22	-2	24	15	-1	16	37	-3	40	168	14	154
畿 奈 良	2	-8	10	9	5	4	11	-3	14	36	-6	42
和 歌 山	9	4	5	5	-3	8	14	1	13	42	-2	44
計	80	-6	86	54	-9	63	134	-15	149	538	-36	574
中 島 取	1	0	1	0	-1	1	1	-1	2	25	-2	27
島 根	0	-4	4	0	0	0	0	-4	4	25	-15	40
岡 山	6	-5	11	5	-1	6	11	-6	17	98	-2	100
広 島	10	1	9	5	-4	9	15	-3	18	94	-17	111
山 口	8	6	2	6	2	4	14	8	6	55	5	50
計	25	-2	27	16	-4	20	41	-6	47	297	-31	328
四 德 島	3	3	0	6	3	3	9	6	3	42	15	27
香 川	2	0	2	7	2	5	9	2	7	50	-14	64
愛 媛	3	-1	4	5	-2	7	8	-3	11	62	13	49
高 知	2	0	2	3	-3	6	5	-3	8	36	-11	47
計	10	2	8	21	0	21	31	2	29	190	3	187
九 福 岡	7	-2	9	8	-1	9	15	-3	18	126	-16	142
佐 賀	2	0	2	1	-2	3	3	-2	5	39	-4	43
長 崎	2	0	2	1	-4	5	3	-4	7	43	10	33
熊 本	10	6	4	5	-3	8	15	3	12	76	5	71
大 分	4	0	4	3	-1	4	7	-1	8	54	16	38
宮 崎	5	4	1	2	-2	4	7	2	5	50	8	42
鹿 児 島	6	5	1	7	2	5	13	7	6	84	13	71
沖 縄	12	4	8	3	0	3	15	4	11	43	8	35
計	48	17	31	30	-11	41	78	6	72	515	40	475
合 計	423	-11	434	271	-23	294	694	-34	728	3,883	-26	3,909